

單ニ檢査執行ノ校名ノミヲ掲クルコト、セリ

小學校工事

校名	所在地	校名	所在地
弁小學校	麻布區弁町二八	窪町小學校	小石川區大塚窪町八
赤羽小學校	芝區赤羽町一	四谷第六小學校	四谷區大番町七二
牛込高等小學校	牛込區市谷長延寺町八	湯島小學校	本郷區湯島新花町九七
明石小學校	京橋區明石町四二	富士小學校	淺草區馬道町七ノ一一
錦華小學校	神田區猿樂町一ノ六	御徒町小學校	下谷區御徒町二ノ四五
上六小學校	龜町區上六番町三四	柳北小學校	淺草區向島柳原町一ノ一
東陽小學校	深川區東平井町	外手小學校	本所區外手町一九
京橋高等小學校	京橋區明石町四五	濱町小學校	日本橋區濱町三ノ五
入谷小學校	下谷區入谷町五五	金富小學校	小石川區金富町二七
沙見小學校	本郷區千駄木町二三二	白金小學校	芝區白金今里町六二
小梅小學校	本所區向島小梅三五、三四ノ二、四二ノ一、四二ノ二、四四、四五、四六、四七、五〇	靈巖島小學校	京橋區越前堀一丁目一ノ一、二ノ一、五ノ一、一一
淡路小學校	神田區淡路町二丁目四番地	神明小學校	芝區神明町二十一番地
南山小學校	麻布區宮村町六十七番地		

以上ノ内窪町小學校雨天體操場ハ其ノ工事頗ル粗漏ニシテ鐵骨及鐵筋竝ニ砂利隨所ニ露出シ殆ント鐵筋鐵骨混凝土建築トシテノ用ヲナサ、ルモノアルヲ發見シタリ仍テ理事者ヲ介シ一時工事ノ中止ヲ命スルト共ニ之カ改修ニ關シ適當ノ計畫ヲ按セシメ嚴密ナル監視ノ下ニ完全ナル工事ヲ施サシメタリ此ノ工事ニ關シテハ特別委員ノ視察幸ニ其ノ時宜ヲ得タル爲メ事ナキヲ得タルハ洵ニ本懐トスルトコロナリ

一 下谷御徒町小學校基礎工事ノ混凝土ハ其ノ調合ニ遺憾ノ點尠カラス更ニ打チ方モ仕様書ニ反スルモノアルヲ發見シタリ仍テ委員ハ基礎工事ノ不完全ハ校舍完成後ニ至大ノ影響アルヲ思ヒ理事者ニ警告ヲ發シタル結果理事者ハ請負者ニ對シ改修ヲ命シタリ

大凡基礎工事ニ於ケル粗漏ハ工事ノ全局ニ及フヲ常トスルカ故ニ爾來委員ハ尙之カ監視ヲ嚴ニシテ今日ニ及ヘリ
 △營繕課所管工事 營繕課ノ管掌スル所ハ前記混凝土工法ノ外煉瓦木造等各種ノ工法ニ亘ルモノアリ委員ハ其ノ材料選擇ノ當ヲ得タルヤ否ヤ竣工期限ノ遲延ナキヤ否ヤニ關シ周密ナル實地ノ調査ヲ遂ケ現場ニ於テ時々監督員其他ニ注意ヲ與ヘ更ニ建築ノ當局ヲ招致シテ適當ニ警告ヲ與ヘタリ其實地ヲ檢査シタルモノ左ノ如シ

工 事 名	場 所
淺草仲見世改築工事	淺草公園内
芝浦水陸連絡上家ソリツット舗裝其他工事	芝浦埋立地
經理課自動車庫其他新築工事	新常盤橋際
下水課出張所新築工事	淺草三味線堀
淺草田町雨水吐ポンプ場内公舎及門扉新築工事	淺草區田町
下水課砂町工區事務所新築工事	府下砂町
深川古石場共同住宅新築工事	深川古石場
月島二號地賣店新築工事	月島二號地
芝罎人授産場新築工事	芝白金志田町
本郷眞砂町公衆食堂新築工事	本郷眞砂町
東京市療養所病舎増築工事	東京府下野方町
東京市療養所機關室及石炭庫新築工事	東京府下野方町
東京市療養所在來建物汚水淨化裝置工事	右 同
駒込病院看護婦附添入食堂外一廉工事	本郷駒込町
下水課錢瓶町ポンプ場上屋新築工事	日本橋吳服橋西詰

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾參節 市政檢査最終報告

- 芝公園内區劃整理局第一出張所新築工事
- 猿江公衆食堂新築工事
- 東京市療養所病舎慰安室及渡廊下新築工事
- 東京市療養所衛生工事
- 芝區新堀河岸尿管新築工事
- 赤羽橋廣芥取扱所改築工事
- 牛込區神樂河岸同上
- 日比谷公園舊音樂堂改築工事
- 錢瓶町ポンプ場工場及物置新築工事
- 水道局淀橋淨水場ポンプ室上家新築工事
- 東京市療養所看護婦食堂兼來觀者控室其他新築並模様替修繕工事
- 廣尾市立病院及特別病舎建設工事
- 芝區芝公園内四號地ノ一
- 深川區本村町元御料地跡市社會局用地内
- 豊多摩郡野方町
- 芝區新堀河岸
- 麻布區飯倉町五ノ六一
- 牛込區神樂河岸

右ノ内淺草公園仲見世ノ工事ハ震災後漸ク混凝土廻廊式ノモノ竣成シ之カ使用方法等凡テ規定ノ存スルモノアルニ拘ラス霧除ケト稱シテ銅板葺屋根ヲ前方ニ突出セシメ使用場所ノ擴大ヲ圖リ移動式商品陳列臺ニ代フルニ固定式ノモノヲ作製スルモノアル等規格ヲ無視シ公園使用ノ目的ニ背馳スルモノアルヲ發見シタルヲ以テ委員ハ直ニ助役以下ノ關係者ヲ委員會ニ招致シテ是正ノ警告ヲ與ヘ適當ナル措置ヲ採ラシムルコトトセリ廻廊區錢瓶町下水ポンプ場工事ハ震災前ノ起工ニシテ今漸ク完成ニ近ツキツツアルモノナリ而シテ検査ノ結果基礎工事ノ側壁ニ龜裂アルコトヲ發見シ重量アル仰筒ノ据付ニ故障アルヲ思ヒ理事者ヲ招致シ其ノ意見ヲ徵シタルニ別ニ支障ナキ旨言明ヲ得タルヲ以テ委員ハ暫ク其ノ經過ヲ見其ノ言明ハ之ヲ後日ニ徵スルコトトセリ野方町市療養所病舎増築工事ハ一般ニ粗漏ナルコトヲ發見シタルヲ以テ委員ハ理事者ヲ介シ工事ヲ中止セシムルト共ニ完全ナル工法ヲ施行セシムルコトトシ其ノ後兩三回ニ亘リ周密ナル検査ヲ行ヒタル爲メ漸次良好ノ成績ヲ擧ケツツアリ

△下水工事 本工事ハ毎ニ其ノ工程頗ル遅緩ヲ極メ掘鑿ノ個所ヲ墮濠ノ状態ニ放置シ而モ其泥土ヲ路上ニ堆積スルコト何レモ長時日ニ亘リ交通上ノ妨害ハ勿論附近ノ住民ノ迷惑言語ニ絶スルモノアリ仍テ委員ハ是等弊害ノ除去ニ關シ理事者ニ嚴重ナル警告ヲ發シタリ今實地検査ヲ爲シタル工事個所ヲ擧クレハ左ノ如シ

下水工事

工 事 名	施 工 箇 所
自水天宮至海運橋幹線工事	自水天宮至海運橋間
自海運橋至錢瓶町唧筒場幹線工事	自海運橋至錢瓶町唧筒場間
自動築銀行前至御成門幹線工事	自動築銀行前至御成門間
自芝橋至三田幹線工事	自芝橋至三田間
自三田至薩摩原幹線工事	自三田至薩摩原間
愛宕排水區自田村町至御成門自御成門至宇田川町枝線工事	芝區自田村町至御成門自御成門至宇田川町間
雄子橋日本銀行前幹線工事	自神田區雄子橋至日本銀行前間
錢瓶町唧筒場機械室基礎工事	錢瓶町區錢瓶町唧筒場所構内
自虎ノ門至土橋雨水吐工事	自虎ノ門至土橋間
銀座排水區其一、二、三枝線工事	自新橋至京橋電車通兩側ノ内 自數寄屋橋至三原橋電車通リ南側除ク
横町排水區其二枝線工事	自日本橋至京橋電車通兩側ノ内因幡町附近ヲ除ク
自芝公園至赤羽橋幹線工事	自芝公園至赤羽橋間
自小川町至神田橋幹線工事	自小川町至神田橋間
西神田、神田、東神田排水區ノ内四十九號幹線街路枝線工事	自神田區商科大學前至東紺屋町間
自大藏省至大手門幹線工事	自大藏省角至大手門間
自雄子橋至大藏省角幹線工事	自神田區雄子橋至大藏省角間

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾參節 市政検査最終報告

- 南洲枝線工事長崎町伏越工事
- 南洲下水枝線工事
- 齊藤堀枝線工事甲號
- 自梁平橋唧筒場至吉田町幹線工事
- 自龜町區五番町至虎ノ門及土橋幹線中自櫻田門至虎ノ門工事
- 芝浦唧筒場護岸及物揚場工事
- 齊藤堀枝線工事乙號
- 自谷中初音町至眞島町幹線工事
- 自牛込區津久土町至飯田橋幹線工事
- 自牛込區板町至小石川區關口水道町一部枝線工事
- 自新富橋及合引橋至海運橋幹線工事
- 愛宕排水區其五枝線工事
- 九ノ内排水區二、六、七、九枝線工事
- 築地排水區其五其六一部枝線工事
- 自櫻田門至虎ノ門幹線工事
- 自赤羽橋至札ノ辻幹線工事
- 梁平橋唧筒場沈砂池工事
- 自高橋至海邊橋枝線工事
- 三之橋排水區枝線工事(乙號)
- 三之橋排水區枝線工事(甲號)
- 自小石川區初音町至同區差町幹線工事

- 本所區南洲下水長崎橋際
- 自兩國驛至柳島町間
- 自西六軒堀町至本村町間
- 自小梅葉平町至吉田町間
- 自櫻田門至虎ノ門間
- 芝浦唧筒場構内
- 自本所區西六間堀町至深川區富川町間
- 自谷中初音町至同眞島町間
- 自牛込區津久土町至飯田橋間
- 自牛込區板町至小石川區關口水道町間
- 自札之辻至芝浦唧筒場幹線工事
- 濱町排水區四五六七八枝線工事
- 室町排水區其二枝線工事
- 芝浦唧筒場沈砂池工事
- 神田排水區六地區枝線工事(乙號)
- 自向島須崎町至小梅町枝線工事
- 三之橋排水區枝線工事
- 自三ノ橋唧筒場幹線及至富川町枝線工事
- 自吉田町至三ノ橋唧筒場幹線並附帶工事
- 梁平橋排水區枝線工事(甲號)
- 自新富橋及合引橋至海運橋幹線工事(甲號)

- 自虎之門至赤羽橋幹線ノ内伏越工事
- 築地排水區其四枝線工事
- 神田及東神田排水區幹線四十九號枝線工事
- 梁平橋唧筒護岸及着船場工事
- 三ノ橋排水區枝線工事
- 中段幹線自護國寺前至江戸川工事(甲號)
- 自芝區白金三光町至麻布區田町枝線工事
- 中段幹線自板橋至石神井工事

- 低段幹線自組橋至雉子橋工事
- 九ノ内排水區其一、二殘部枝線工事
- 錢瓶町唧筒場沈砂池泥揚機械工事
- 木場唧筒場沈砂池土工一部工事
- 三ノ橋排水區枝線工事(丙號)
- 高段幹線自麻布宮下町至一ノ橋工事
- 山谷排水區自淺草區橋場及玉姫町至同田町唧筒場枝線工事

△道路橋梁工事 道路橋梁等ニ關シ委員ハ現場ニ於テ之カ工法其他ニ關シ隨時當局ノ注意ヲ喚起シタリ而シテ検査シタルモノヲ掲クレハ左ノ如シ

道路工事

工 事 個 所	工 種
街路第一六號 自青山北町六丁目至神宮橋	瀝 青
街路第一〇號 自櫻田門至日比谷公園東北角	同
同 第三五八號 自府立第一中學校至內幸町一ノ六	同
同 第三六八號 自四谷堀町至新宿郡市界	鋪 木
同 第一九二號 自青山一丁目至青山四丁目	同
同 第八七號 自龜町五丁目至四谷見附	瀝 青
芝區車町高輪南町一七、三田臺町二ノ五	
麴町區竹平町(竹橋際)	
赤坂區青山權田原(青山御所裏)	
本所區龜澤町一丁目ヨリ柳島橋ニ至ル	

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾參節 市政検査最終報告

以上街路撤水工事

- 牛込區自通寺町三〇至赤城元町五外二箇所
- 赤坂區青山南町一丁目地内
- 四谷區自北伊賀町四四一三八至簗筒町三三一三八外四箇所
- 四谷三光町一二七一—一四九外五箇所
- 四谷區旭町
- 麻布廣尾町五一—四九外四箇所
- 麻布新堀町七—三外二箇所
- 本郷西片町一〇外二五箇所
- 芝白金三光町四一四外三箇所
- 芝浦一丁目及二丁目内
- 小石川自表町七九至久堅町一五外五箇所
- 小石川自宮下町一九至丸山町一一外五箇所
- 下谷池ノ端七軒町一一七外三箇所
- 深川木場町一—三〇
- 深川自高橋至新高橋

以上修繕工事

- 自四谷鹽町至新宿市界
- 自御成門至芝園橋
- 自材木町至高樹町區界
- 自麻布櫻田町至廣尾町
- 自麴町五丁目至半藏門

- 側溝及横切修繕
- 暗渠新設
- 側溝修繕
- 側溝及横切新設並修繕
- 玉川上水路蓋架
- 側溝修繕及新設
- 側溝及横切修繕
- 簡易移動式鐵筋混凝土材料置場据付工事
- 側溝修繕
- 側溝横切及掛修繕
- 側溝及横切修繕
- 側溝及横切新設
- 道路盛土
- 土留修繕
- 鋪木道
- 瀝青混凝土道
- 同
- 同
- 同

自永樂町二丁目至數寄屋橋内

自大手町至吳服橋

自市役所前至東京停車場

自傳馬町三ノ一至表町二ノ一六

自神田區岩本町一三至同一先

自芝區白金三光町三七六至同三〇八先

自芝區金杉四ノ八至同南濱町二〇先

四谷區旭町

自芝區三田四國町二至金杉四丁目八先

自芝區芝浦埋立地日ノ出町至三八先

四谷區坂町一三三—一三四—一二二—一〇四—一一四先外五箇所

自下谷區谷中天王寺町至四—四六先

深川區洲崎廓内

同區古石場二二先

自芝區二本榎町二ノ六至同區高輪北町

自深川區猿江町至本所區錦糸町

自神田區淡路町二丁目至同區駿河臺西紅梅町

深川區越中島町地内

自本所區德右衛門町至深川區木場町

自神田區駿河臺鈴木町至同區猿樂町一丁目

自本所區林町三丁目至深川區猿江裏町

自本所區若宮町至深川區富川町

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾參節 市政検査最終報告

- 同
- 鋪木道
- 道路改築
- コンクリートブロック道
- 暗渠改造工事
- 暗渠修繕工事
- 暗渠新設工事
- 玉川水路蓋架工事
- 暗渠新設工事
- 道路修繕工事
- 側溝及横切下水工事
- 土留修繕工事
- 樋門改造工事
- 道路修築工事
- 道路改正工事
- 地上(補助街路第五號線)
- 街路築造(同第六十六號線)
- 地上(同第二百二十一號線)
- 同(同第十一號線)
- 街路築造(同第八號線)
- 地上(同第一百十六號線)
- 同(同第四十一號線)

- 自本所區北二葉町至同區太平町
- 本所深川兩區內
- 自本所區若宮町至深川區富川町
- 自神田區駿河臺鈴木町一三至同區三崎町一ノ一二
- 北豐島郡三河島町正庭四五七一二、六六九
- 自本所區橫川町至同區花町
- 自三河島町正庭二、八〇一至日暮里町元金杉一、六四二
- 自深川區石島町三〇一至同區同町一七
- 深川區東平井町地内
- 自芝區二本坂町二ノ六至高輪北町
- 自赤坂青山北町四丁目近衛歩兵第四聯隊前至千駄ヶ谷觀音橋
- 自赤坂御所裏門前至權田原町電車通
- 自赤坂區青山北町一丁目至四谷區信濃町停車場
- 同上

橋梁工事 (六月十日現在)

橋名	橋名	橋名	橋名	橋名
船河原橋	新橋	西河岸橋	芝園橋	竹橋
新龜島橋	三之橋	富坂橋	濱前橋	豐玉橋
新架橋	末廣橋	中之橋	一之橋	江戸川橋

一 撤水自動車ニ關スル件 該自動車ハ震災直後電氣局カ電車ノ補助機關トシテ應急施設シタル乗合自動車ノ使用済ノモノヲ道路局ニ於テ購入シ之ヲ撤水用ニ改造シ各區ニ配布シタルモノニシテ其ノ數五十八臺ニ達セリ

然ルニ使用ニ方リ故障續出シ到底實用ニ堪ヘスト云フニアリタリ委員ハ實地ニ就キ査覈シタルニ内第二回ノ改造ニ係ル三十八臺中ニハ故障ノ甚シキモノアルヲ認メ更ニ慎重検査ノ結果設計ニ過誤アルモノト認メ速ニ善後策ヲ講スヘキ旨理事者ニ戒告ヲ與ヘタリ此ノ結果漸次改修セラレ今ハ何レモ支障ナク實用ニ供セラレツツアリ

△電氣局營繕關係 委員會ニ於テハ更ニ電氣局關係ノ諸工事ニ於テモ検査ノ必要ヲ認メ左記ノ如キ箇所ニ亙リテ其ノ検査ヲ遂ケタリ

電氣局建築工事

- | 工事名 | 工事場所 |
|----------------------|-------------------|
| 錦糸堀車庫及運輸課出張所増築外八廉工事 | 本所區柳町二ノ四四 |
| 青山變電所新築外二廉工事 | 赤坂區青山南町一丁目四番地 |
| 東大久保運輸課出張所新築外九廉工事 | 府下大久保町東大久保字前田市三二二 |
| 電氣研究所化學實驗室新築外三廉工事 | 麹町區有樂町三丁目六番地 |
| 電氣研究所內蒸汽機房設備工事 | 同 |
| 本局廳舎改築ノ内事務所一部増築工事 | 同 |
| 芝浦工場内鍛冶製鐵工場新築外二廉工事 | 芝區月見町三丁目一番地 |
| 赤坂見付運輸課出張所補修模様替外二廉工事 | 赤坂區田町一丁目五番地 |
| 淺草運輸課出張所増築外一廉工事 | 淺草區新谷町一 |
| 南千住運輸課出張所新築外一廉工事 | 府下南千住大字千住南字河原崎 |
| 三田車庫改築外一廉工事 | 芝區三田四國町一八番地 |

右ノ内東大久保運輸課出張所工事ハ最モ粗漏不親切ヲ極ムルモノアルヲ發見シタリ仍テ委員會ハ數次ニ亙リ工事ヲ丁寧ニシ其ノ完備ヲ期スヘキ旨注意セシニ拘ラス依然トシテ反省ノ跡ヲ見サルモノアリシヲ以テ理事者ヲ招致シ嚴重ナル警告ヲ與ヘタル結果之カ

改修ニ關シ請負者ヨリ別紙ノ如キ請書ヲ徴シ且ツ之ヲ履行セシムルコトニ就テ理事者ハ責任ヲ以テ之ニ衝ルヘキ旨言明シタルヲ以テ委員ハ之ヲ諒トシ結果ハ之ヲ後日ニ徴スルコトトシテ局ヲ結ヘリ

(別紙)
(寫)

工事承引請書

電氣局東大久保運輸課出張所新築工事ニ就テ

右請負工事中「コンクリート」仕上り面ニ不良ノ箇所有之候間「セメントガン」ヲ以テ修理可致候

假設中ノ型枠ハ取解キ堅牢ニ組立テ堰板ハ目板打ト可致候

砂利及砂ハ全部搬出致シ新規材料ト取換可申候

(一)「コンクリート」打ハ將來一層丁寧ニ施行可致候

(二)右承引仕候也

大正十五年四月十三日

東京市京橋區三十間堀三丁目三番地

株式會社 鴻池組東京支店

取締役社長 鴻池忠三 部

東京市參與電氣局長大道良太殿

赤坂運輸課出張所工事ハ頗ル粗漏ニシテ其ノ現状ヲ以テシテハ到底工程ヲ進メシメ難キモノト認メ委員ハ理事者ヲシテ根本的ニ之ヲ補強策ヲ講セシムルコトニ決シ目下當局ニ於テ其ノ工事實施中ナリ而シテ本工事ハ混凝土工法ニ對スル必要條件ノ注意ヲ缺如シタル結果カ如何ニ恐ルヘキカヲ知ルニ足ル最モ好個ノ實例ナリト認メ現場監督ノ任ニ當ル者ニ之ヲ實見セシメ以テ監督ノ忽諸ニ付スヘカラサルヲ周知セシムルコトニ就キ當局者ニ警告シタリ

△結論 以上ノ如ク本會ハ其ノ設置以來總會ヲ開クコト四十五回理事會ヲ開クコト二回分科會ヲ開クコト五十五回出張スルコト十

九回特別委員會ヲ開クコト六十七回出張スルコト三十九回ニ及ヒ市政ノ向上刷新ノ爲ニ凡ユル努力ヲ拂ヘリ而シテ本委員會カ検査ヲ實施シタル結果市政ノ各般ニ亘リ改善セラレタルモノ多キ實績ニ鑑ミ來ルヘキ市會ニ於テモ此種委員會ヲ設置シ大震災後頓ニ激増セル事務ノ執行上動モスレハ機微ノ間ニ醸成セラレムトスル非違ヲ警メ市綱紀ノ肅正ヲ圖リ以テ市政ノ圓滿ナル運用ヲ企圖スルノ緊要ナルヲ認ム

更ニ工事監督方法ニ關シテハ本會検査ノ經驗ニ顧ミ瞬刻モ之カ監視ノ眼ヲ放ツヘキニアラス然ルニ本市ノ監査機關タル監査課ハ其ノ組織事務會計方面ノ監査ニ限局セラレ工事方面ノ監査ニ至リテハ専門的技術者ナキカ爲メ拱手シテ傍觀シ僅カニ市政検査委員會ノ活動ニ俟ツノ已ムナキ實狀ナリ今ヤ本市ハ復興諸事業ノ進展ト共ニ之カ監査ヲ要スルモノ益多キヲ加フ素ヨリ局課ヲ廢合シ冗費ヲ節スルハ其ノ所ナリト雖市政刷新ノ根本ニ影響スル土木建築事業ニ對シテハ特ニ是カ監査機關ヲ常置シ市會ニ於ケル検査機關ト相俟テ其萬全ヲ期スルハ極メテ喫緊ノ事ナリト認ム

第貳拾四節 選舉分會設置

左案ハ五月十日ノ會議ニ上程異議ナク原案ヲ可決セリ。

第八十一號

市會議員選舉分會設置ノ件

大正十五年六月四日淺草區選舉會ニ於テ執行スヘキ市會議員二級選舉ニ對シ左記各町ヲ一區劃トシ選舉分會ヲ設置スルモノトス

記

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾四節 選舉分會設置

改修ニ關シ請負者ヨリ別紙ノ如キ請書ヲ徴シ且ツ之ヲ履行セシムルコトニ就テ理事者ハ責任ヲ以テ之ニ衝ルヘキ旨言明シタルヲ以テ委員ハ之ヲ諒トシ結果ハ之ヲ後日ニ徴スルコトトシテ局ヲ結ヘリ

(別紙)

(寫)

工事承引請書

電氣局東大久保運轉課出張所新築工事ニ就テ

(一) 右請負工事中「コンクリート」仕上り面ニ不良ノ箇所有之候間「セメントガン」ヲ以テ修理可致候

(二) 假設中ノ型枠へ取解キ堅牢ニ組立テ堰板ハ目板打ト可致候

(三) 砂利及砂ハ全部搬出致シ新規材料ト取換可申候

(四) 「コンクリート」打ハ將來一層丁寧ニ施行可致候

右承引仕候也

大正十五年四月十三日

東京市京橋區三十間堀三丁目三番地

株式會社 鴻池組東京支店

取締役社長 鴻池忠三 部

東京市參與電氣局長 大道良太殿

赤坂運轉課出張所工事ハ頗ル粗漏ニシテ其ノ現狀ヲ以テシテハ到底工程ヲ進メシメ難キモノト認メ委員ハ理事者ヲシテ根本的ニ之ヲ補強策ヲ講セシムルコトニ決シ目下當局ニ於テ其ノ工事實施中ナリ而シテ本工事ハ混凝土工法ニ對スル必要條件ノ注意ヲ缺如シタル結果カ如何ニ恐ルヘキカヲ知ルニ足ル最モ好個ノ實例ナリト認メ現場監督ノ任ニ當ル者ニ之ヲ實見セシメ以テ監督ノ忽諸ニ付スヘカラサルヲ周知セシムルコトニ就キ當局者ニ警告シタリ

△結論 以上ノ如ク本會ハ其ノ設置以來總會ヲ開クコト四十五回理事會ヲ開クコト二回分科會ヲ開クコト五十五回出張スルコト十

九回特別委員會ヲ開クコト六十七回出張スルコト三十九回ニ及ヒ市政ノ向上刷新ノ爲ニ凡ユル努力ヲ拂ヘリ而シテ本委員會カ検査ヲ實施シタル結果市政ノ各般ニ亘リ改善セラレタルモノ多キ實績ニ鑑ミ來ルヘキ市會ニ於テモ此種委員會ヲ設置シ大震災後頓ニ激増セル事務ノ執行上動モスレハ機微ノ間ニ醸成セラレムトスル非違ヲ警メ市綱紀ノ肅正ヲ圖リ以テ市政ノ圓滿ナル運用ヲ企圖スルノ緊要ナルヲ認ム

更ニ工事監督方法ニ關シテハ本會検査ノ經驗ニ顧ミ瞬刻モ之カ監視ノ眼ヲ放ツヘキニアラス然ルニ本市ノ監査機關タル監査課ハ其ノ組織事務會計方面ノ監査ニ限局セラレ工事方面ノ監査ニ至リテハ専門的技術者ナキカ爲メ拱手シテ傍觀シ僅カニ市政検査委員會ノ活動ニ俟ツノ已ムナキ實狀ナリ今ヤ本市ハ復興諸事業ノ進展ト共ニ之カ監査ヲ要スルモノ益多キヲ加フ

素ヨリ局課ヲ廢合シ冗費ヲ節スルハ其ノ所ナリト雖市政刷新ノ根本ニ影響スル土木建築事業ニ對シテハ特ニ是カ監査機關ヲ常置シ市會ニ於ケル検査機關ト相俟テ其萬全ヲ期スルハ極メテ喫緊ノ事ナリト認ム

第貳拾四節 選舉分會設置

左案ハ五月十日ノ會議ニ上程異議ナク原案ヲ可決セリ。

第八十一號

市會議員選舉分會設置ノ件

大正十五年六月四日淺草區選舉會ニ於テ執行スヘキ市會議員二級選舉ニ對シ左記各町ヲ一區劃トシ選舉分會ヲ設置スルモノトス

記

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾四節 選舉分會設置

左衛門町	上平右衛門町	下平右衛門町	茅町一丁目	茅町二丁目
榊町	新森田町	新片町	旅籠町一丁目	旅籠町二丁目
新須賀町	瓦町	福井町一丁目	福井町二丁目	福井町三丁目
新福井町	向柳原町一丁目	向柳原町二丁目	猿屋町	須賀町
御藏前片町	森田町	南元町	南富坂町	新旅籠町
福富町	老松町	元鳥越町	西鳥越町	小島町
北三筋町	西三筋町	東三筋町	榮久町	北富坂町
北元町	八幡町	三好町	黒船町	諫訪町
新猿屋町	新福富町	壽町	森下町	三間町
駒形町	材木町	並木町	茶屋町	東仲町
西仲町	田原町一丁目	田原町二丁目	田原町三丁目	高原町
阿部川町	南松山町	七軒町	永住町	南清島町
代地河岸	駒形河岸	鳥越河岸		

計六十三箇町

説明 本年四月五日現在ニ依ル淺草區選舉區市會議員二級選舉人ハ約二萬二千人ノ多數ニシテ同一箇所ニ於テ選舉執行不能ニ付分會ヲ設クルモノトシ本案ヲ提出ス。

第貳拾五節 下水事業

▽改良下水道應整理費繼續年期及支出方法 左案ハ五月十日ノ會議ニ上程、異議ナク原案ヲ可決セリ。

第八十八號

自大正十五年度 至大正十七年度 東京市下水道應整理費繼續年期及支出方法

一金百六拾萬圓

下水道應整理費

内譯

金四拾萬五千七百四拾六圓	大正十五年度支出額
金五拾貳萬六千四百五拾圓	大正十六年度支出額
金六拾六萬七千八百四圓	大正十七年度支出額

説明 本市下水道設計第二區ノ中第一期工事トシテ完成シタル淺草下谷區ノ大部及神田本郷區ノ一部ニ付區劃整理ノ實施ニ伴ヒ水管渠移轉整理ノ爲資源ヲ補償金ニ需メ大正十五年度ヨリ大正十七年度ニ至ル三箇年繼續事業トシテ之ヲ施行スルモノトス。

(支出計算表略)

▽改良下水道速成費更正繼續年期及支出方法 左案ハ十二月八日ノ會議ニ上程、異議ナク原案ヲ可決セリ。

第一百五十四號

自大正十四年度 至大正十七年度 東京市都市計畫事業改良下水道速成費更正繼續年期及支出方法

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾五節 下水事業

一金四百五拾八萬圓

內 譯

既定並更正都市計畫事業改良下水道速成費

金百參拾九萬參千百圓
 金百七萬六千貳百參拾八圓八拾七錢
 金九拾萬九百圓
 金百四拾九萬七百八拾壹圓拾參錢
 金百五拾八萬圓
 金百參拾萬七千九百八拾圓
 金七拾萬五千圓

大正十四年度既定支出額
 同 年度 既 支出額
 大正十五年度既定支出額
 同 年度 更正支出額
 大正十六年度既定支出額
 同 年度 更正支出額
 大正十七年度既定並更正支出額

説明 本件ハ事業遂行上ノ必要ニ依リ旁之ヲ失業救濟事業トシテ繰上ケ施行スルヲ適當ナリト認メ其ノ費額ヲ更正スルモノトス。

第貳拾六節 瓦斯問題

▽東京瓦斯株式會社増資承認ニ關スル件 左案ハ五月十日ノ會議ニ上程、異議ナク原案ヲ可決セリ。
第八十七號

東京瓦斯株式會社増資承認ニ關スル件

東京瓦斯株式會社ヨリ報價契約第十二條ニ依リ金五千五百萬圓ノ増資承認方ヲ求メ來リタルヲ以テ左記條件ヲ附

シ之ヲ承認スルモノトス

記

- 一 増資ニ依リ各事業實施ニ付法令ニ基キ監督官廳ニ許可ノ申請ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ豫メ其ノ事項ニ關シ關係書類及圖面ヲ添附シ市長ノ承諾ヲ得ルコト
- 二 本市内公道ニハ供給本管ヲ速カニ敷設スルコト
- 三 増資ニ依リ各豫定事業ヲ完成シタルトキハ其ノ都度遲滯ナク詳細ナル計算書ヲ添ヘ市長ヘ報告スルコト
社債ノ償還ニ付亦同シ

説明 東京瓦斯株式會社ヨリ別紙ノ通増資承認方ヲ求メ來レリ依テ調査スルニ東京市内ニ於ケル瓦斯ノ需用ハ全世界帶數ニ對シ四割二分弱ニ過キス大多數ハ會社ノ製造供給能力不十分ニ因リ之ヲ使用シ得サル状態ニシテ瓦斯製造供給ノ緩和ヲ計ラシムル爲已ヲ得サルモノト認メラルヲ以テ前記條件ヲ附シ承認スルモノトシ本案ヲ提出ス。

(別紙)

大正十四年十二月十一日

東京瓦斯株式會社

取締役社長 渡邊勝三郎

東京市長 中村是公殿

増資ニ付承認方ノ件

弊社ハ業ニ大正十三年三月第一回社債五百萬圓、同十月第二回參百萬圓、十四年七月第三回八百萬圓ヲ募集シ震災ニ因ル損害復舊及復興擴張ノ資ニ充テタリ然ルニ瓦斯需用増加ノ趨勢ハ毫モ衰ヘサルヲ以テ之ニ備フヘキ製造及供給ノ設備擴張ハ一日モ之ヲ忽カ
大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾六節 瓦斯問題

セニスル能ハス加フルニ社債償還ノ期モ漸次近キツツアルヲ以テ之カ資金トシテ安定セル財源ヲ備フル爲メ茲ニ五千五百萬圓ノ増資ヲ決行シ必要ニ應シ相當ノ拂込ヲ爲シ以テ社債ノ償還或ハ興業費ノ支辨等財界ノ狀態時勢ノ進運ニ應シ機宜ノ方策ヲ執ランコトヲ期シ申度候間何卒速ニ御承認被成下度明治四十四年十一月二十五日貴市對弊社間ニ締結シタル契約第十二條ニ依リ此段申請候也
(事業計畫表、擴張工事費豫算表略)

▽東京瓦斯株式會社報償契約附屬覺書變更ノ件 左案ハ五月十日ノ會議ニ上程、小久江美代吉君ノ動議ニ依リ、左記條件中「拾米」ヲ「拾貳米」ニ修正可決シタリ。

第九十號

東京瓦斯株式會社報償契約附屬覺書變更承認ノ件

本市ハ東京瓦斯株式會社ト左ノ覺書ヲ交換スルモノトス

覺書

明治四十四年十一月二十五日東京市長ト東京瓦斯株式會社取締役トノ間ニ締結シタル契約ノ趣旨ヲ明ニスル爲當事者間ニ取換置キタル契約附屬覺書中其ノ第二ハ左記瓦斯供給條件ヲ主務大臣ニ於テ認可シタル日ヨリ其ノ效力ヲ失フモノトス

前項ノ瓦斯供給條件ニ關シ更ニ會社カ將來主務大臣ニ認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ會社ハ豫メ市ノ内諾ヲ得ヘキモノトス

本覺書ハ市會ノ議決ヲ得會社カ役員會議ノ承認ヲ得タル日ヨリ其ノ效力ヲ生ス

大正十五年四月二十七日

東京市長 中村是公

東京瓦斯株式會社

取締役社長 渡邊勝三郎

記

一 瓦斯供給ニ要スル瓦斯導管、引込コックハ會社ノ負擔トス但シ引込管(專用又ハ共用)及屋外管ヲ通算シテ一需用者ニ付拾米ヲ超過スル部分、屋内管並機械器具類ハ需用者ノ負擔トス其ノ維持修繕及位置變更ニ付亦同シ

二 瓦斯メートルハ會社ノ負擔ヲ以テ之ヲ取付ケ需用者ハ從前ノ通一定ノ使用料ヲ支拂フモノトス

三 遠隔ノ場所ニ引込ム爲特ニ瓦斯本管ノ延長ヲ要スルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ需用者ノ負擔トスルコトアルヘシ

四 普通ノ引込設備ニシテ需用者ノ希望アルトキハ引込管、屋外管及屋内管共會社ノ負擔ト爲スコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ需用者ハ第一號但書所定ノ延長ヲ超過スル部分並屋内管ニ對シ一定ノ賃貸料ヲ支拂フモノトス

前項ノ賃貸料ハ豫メ市長ノ内諾ヲ經ルコトヲ要ス

説明 時勢ノ進運ニ伴ヒ報償契約附屬覺書中其ノ第二ハ之ヲ削除シ適當ノ取極ヲ爲シ置ク必要ヲ認メ本案ヲ提出ス。

▽瓦斯供給條件改定ニ關スル内諾承認ノ件 左案ハ五月十日ノ會議ニ上程、小久江美代吉君ノ動議ニ依リ左記條件

中「拾米」ヲ「拾貳米」ニ修正可決シタリ。

第九十一號

瓦斯供給條件改定ニ關スル内諾承認ノ件

大正十五年四月二十七日東京瓦斯株式會社ヨリ瓦斯供給條件改定ニ關シ別紙ノ通照會アリタルヲ以テ之カ内諾ヲ承認シ尙主務大臣ヨリ本供給條件ニ關シ法令ニ依リ意見ヲ徵セラレタル場合ニ於テハ異議ナキ旨答申スルモノト

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾六節 瓦斯問題

ス
(別紙)

當會社瓦斯供給條件ヲ左記之通り改定ノ儀主務大臣ニ認可申請仕度ト存候就テハ豫メ貴市ノ御内諾ヲ得度此段得貴意候也
大正十五年四月二十七日

東京瓦斯株式會社

社長 渡邊勝三郎

東京市長 中村是公殿

記

- 一 瓦斯供給ニ要スル瓦斯導管、引込コックハ會社ノ負擔トス但シ引込管(専用又ハ共用)及屋外管ヲ通算シテ一需用者ニ付拾米ヲ超過スル部分、屋内管並機械器具類ハ需用者ノ負擔トス其ノ維持、修繕及位置變更ニ付亦同シ
- 二 瓦斯メーターハ會社ノ負擔ヲ以テ之ヲ取付ケ需用者ハ從前ノ通り一定ノ使用料ヲ支拂フモノトス
- 三 遠隔ノ場所ニ引込ム爲特ニ瓦斯本管ノ延長ヲ要スルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ需用者ノ負擔トスルコトアルヘシ
- 四 普通ノ引込設備ニシテ需用者ノ希望アルトキハ引込管、屋外管及屋内管共會社ノ負擔ト爲スコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ需用者ハ第一號但書所定ノ延長ヲ超過スル部分並屋内管ニ對シ一定ノ賃貸料ヲ支拂フモノトス

前項ノ賃貸料ハ豫メ市長ノ内諾ヲ經ルコトヲ要ス

▽瓦斯料金引下ニ關スル建議

左記建議ハ、九月二十五日ノ會議ニ上程、異議ナク原案ヲ可決セリ。

一、瓦斯料金引下ニ關スル建議

右提出候也

大正十五年九月九日

提出者 小板久馬吉

賛成者 瀧澤七郎 外十一名

東京市會議長 小島七郎殿

瓦斯料金引下ニ關スル建議

東京瓦斯株式會社ハ曩キニ本市トノ報償契約書第六條第二項ニ基キ料金ノ引上承認ヲ求メ來リ本市會ハ大正八年九月三十日五箇ノ要項ニ依リ之カ承認ヲ與ヘタリ而シテ現今ノ狀況ヲ見ルニ炭價ハ其當時ニ比シ著シク低落シ該承認要項中第五項ノ炭價低落ノ場合其他特別ノ事情ニ因リ市カ瓦斯料金ノ引下ヲ要求シタルトキハ會社ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ストアルニ該當スルヲ以テ此際相當ノ料金引下ヲ爲サシムルコトハ財界不況裡ニ苦ミツ、アル市民ヲシテ其負擔幾分ヲ輕減セシムル緊切ノ措置ナリト信ス依テ理事者ハ速カニ之カ調査ヲ遂ケ相當ノ手續ヲ採ラレンコトヲ望ム

右建議ス

第貳拾七節 公園ト墓地

▽淺草寺ト契約締結ノ件 左案ハ五月十日ノ會議ニ上程サレタリ。

第九十四號

契約締結ニ關スル件

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾七節 公園ト墓地

本市淺草公園地問題ヲ解決スルニ付別紙契約書案竝覺書案ニ依リ本市ト淺草寺ト契約ヲ締結スルモノトス
 説明 本件ハ本市淺草公園地域大部分ノ土地所有者タル淺草寺ヨリ文書又ハ口頭ヲ以テ屢々請願アリテ永年懸案トナリ來レル本
 市淺草公園地除却問題ヲ解決スル爲別紙案ノ通處理スルヲ適當ト認メ本案ヲ提出ス

(別紙)

契約書案

淺草公園除却ノ件ニ關シ東京市(以下單ニ市ト稱ス)ト淺草寺(以下單ニ寺ト稱ス)トノ間ニ契約ヲ爲スコト左ノ如シ

第一條 市ハ公園地ノ内第一區及第二區(仲店ヲ除ク)ノ管理經營ニ付キ淺草寺ノ保護ト史蹟保存ノ趣旨ニ基キ宗教上ノ靈場タル尊
 嚴ヲ保持スル爲メ此區域内施設ニ付テハ特ニ寺ト協議ノ上施行スル事尙ホ以上ノ趣旨ニ基キ淺草寺ヨリ申出アル場合ハ之ヲ尊重
 スルコト

第二條 市ハ現在公園區域中寺所有地ノ内別紙圖面表示ノ地域約一萬四千二百三十三坪ヲ公園ヨリ除却スルコト

第三條 寺ハ前後除却區域以外ノ寺所有地ニ付テハ市カ公園ノ用ニ供スル間ハ市ニ對シ何等ノ申出ヲ爲サ、ルコト

第四條 市カ將來公園ノ用ヲ廢止シタルトキハ其全部ト一部ナルトニ不拘市ハ其ノ區域ニ對シ直ニ公園ヨリ除却ノ手續ヲ爲スコト
 但シ淺草區役所敷地ハ其ノ敷地トシテ使用中ノ地料ハ無料タルコト

第五條 第三區傳法院境内中除却區域ハ之ヲ市ノ管理ニ供シ史蹟名勝保存ノ趣旨ニ基キ傳法院庭園トシテ制限公開ヲ爲スコト

第六條 本契約條項履行ノ爲メ必要ナル事項ハ別ニ覺書ヲ作成スルモトス

第七條 本契約ハ市會ノ承認決議ヲ經内務大臣ニ於テ第三條ニ定ムル地域ヲ除却スル爲市區改正設計中淺草公園面積變更ノ告示ヲ
 爲シタルトキ其ノ效力ヲ生スルモノトス

第八條 此ノ契約書(略圖添附)ハ二通ヲ作り市及寺ニ於テ各一通ヲ保有スルモノトス

大正十五年 月 日

東京市

淺草寺

市長

右代表者任職	救護榮海
信徒總代	澁澤榮一
同	澤柳政太郎
同	馬越恭平
同	高木益太郎

覺書案

大正十五年 月 日東京市(以下單ニ市ト稱ス)ト淺草寺(以下單ニ寺ト稱ス)トノ契約書ニ付之カ實行上遺漏ナキヲ期スル爲メ
 左記事項ニ遵守スヘキコトヲ約ス

- 一 契約書ハ公正證書トシテ作成スルコト
- 二 除却區域ハ市ト寺トニ於テ現場立會ノ上決定シ市ハ之ヲ寺ニ引渡スコト
- 三 除却地ノ地料ハ大正十九年三月末日迄ハ理由ノ如何ヲ問ハス地料ノ値上ヲ爲サ、ルコトニ寺ニ於テ聲明スルコト
- 四 除却地ノ使用料ハ除却告示カ月ノ十五日以前ナルトキハ其ノ月ノ半月分十六日以後ナルトキハ其ノ月ノ金額ヲ市ニ於テ取得
 スルモノトス
- 五 市ハ契約後、遲滞ナク市區改正設計中淺草公園區域變更ノ手續ヲ爲スヘキコト

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾七節 公園ト墓地

- 六 第三區傳法院庭園ニ屬スル公園地域ニ對シテハ市ハ寺ト協議ノ上完全ナル復舊修理竝ニ公開ニ必要ナル施設ヲ爲スコト
- 七 前項實施ノ爲必要ナル地上物件ノ整理ハ寺ニ於テ直ニ施行スヘキコト
- 八 以上ノ外必要ト認メタル事項ハ其ノ都度市ト寺ニ於テ協議ノ上決定スルコト
- 九 此ノ覺書ハ二通ヲ作り各一通ヲ保有スルモノトス

大正 年 月 日

(圖面省略)

右ハ小久江美代吉君ノ動議ニ依リ、議長指名七名ノ委員ニ調査ヲ付託スルニ決シ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク選定セリ。

- 島田 藤吉 垣見八郎右衛門 秋山 朗 山崎龜吉 寺田彌一郎
- 村山賢作 國枝捨次郎

委員ハ、島田藤吉君ヲ委員長ニ推シ、審議ノ末、五月二十八日ノ會議ニ於テ、原案ヲ可決シタル旨報告、委員會ノ報告通議決セリ。

▽上野公園休憩所ニ關スル質疑應答 九月九日ノ會議ニ於テ、茂木久平君ハ、上野恩賜公園内ノ休憩所問題ニ就キ、約半歳ニ互ル紛擾ノ結果、本市ヨリ無檢印ノ椽臺ヲ撤去スベシトノ警告ヲ發シタルニ拘ラズ、未ダニ其命ニ從ハズ營業ヲ繼續セリ、右ハ理事者ニ於テ如何ナル措置ニ出デントスルカ。次キニ本問題ハ根本的改善若クハ解決ノ策ヲ講ズルノ要アリト信スルガ、理事者ニ果シテ對策アリヤ、若シ根本解決ヲ爲サントスレバ、少クモ其真相ヲ知ラザル可ラズ、余ハ聊カ本問題ニ關係アリテ、紛擾ノ真相ヲ知悉シ居ルガ故ニ、參考ノ爲メ之ヲ縷述スベシトテ數十分ニ互リテ詳細ニ之ヲ語り理事者ノ答辯ヲ促シタルニ。丸山助役ハ、本件ハ本年三月以來紛爭ヲ重ネツ、アルガ、理事者モ

深ク之ヲ遺憾トシ、根本解決策ニ就キ研究調査ニ努力シツ、アリト答辯セリ。

▽墓地改葬規則中改正ノ件 左案ハ九月二十五日ノ會議ニ上程、異議ナク之ヲ可決セリ。

第三百三十四號

東京市墓地改葬規則中改正ノ件

東京市墓地改葬規則中左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行スルモノトス

第二條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

特別都市計畫土地區劃整理施行地區内ニ於テハ市長ノ承認スル特殊ノ納骨設備ヲ爲シ之ニ改葬スルコト得

説明 特別都市計畫土地區劃整理地區内ニ於ケル本市元寺院境内共葬墓地ノ改葬ニ付緩和ヲ圖ルノ必要ヲ認メ本案ヲ提出ス

第貳拾八節 正副議長選舉

六月十九日、市會議員改選第一次ノ會議ヲ開キ、細谷鎌太郎君假議長席ニ就キテ、議長選舉ヲ行ヒタル結果、投票總數八十八票中、無効一票ニテ左ノ如ク當選セリ。

(當選) 五十一票 小島七郎

次イデ小島七郎君議長席ニ就キ、引續キ副議長ノ選舉ヲ行ヒタルニ投票總數八十八票中、無効一票ニテ左ノ如ク當選セリ。

(當選) 五十四票 入山祐治郎

第貳拾九節 市長及助役退任ノ件

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾八節 正副議長選舉 第貳拾九節 市長及助役退任ノ件

▽中村市長辭職ノ件 六月十九日ノ會議ニ於テ、議長選舉後左ノ報告アリタリ。
内發第三七五號

東京市長中村是公六月八日内務大臣ノ認可ヲ受ケ退職致候此段報告候也
大正十五年六月十九日

東京市長代理

東京市助役 岡田忠彦

東京市會議長殿

▽助役退職ノ件 尙ホ同日ノ會議ニ於テ、引續キ左ノ報告アリタリ。

内發第三七六號

東京市助役田澤義鋪及東京市助役田沼義三郎六月三日東京府知事ノ認可ヲ受ケ退職致候此段報告候也
大正十五年六月十九日

東京市長代理

東京市助役 岡田忠彦

東京市會議長殿

因ニ市長代理ノ職ニ在リシ、第一助役岡田忠彦君ハ、六月七日退職願ヲ提出シタルニ、左記記載ノ如キ事情ニ依リ延引シ、七月二日ノ會議ニ於テ其退職ヲ承認サレタリ。
内發第四四二號

本年六月七日付東京府知事ニ提出シタル助役岡田忠彦ノ辭職願ハ同月三十日迄ニ認可ヲ得ルニ至ラス本年六月勅令第二百十號市制町村制改正經過規程第六條ニ該當スルニ至リタル旨府知事ヨリ通牒有之候此段報告候也
大正十五年七月一日

東京市長代理

東京市助役 岡田忠彦

東京市會議長小島七郎殿

内秘第九四五號

本市助役岡田忠彦ヨリ別紙寫ノ通申出有之候間市長就職御裁可ト同時ニ退職方市會ニ於テ承認候様御取計相成度候也

大正十五年七月二日

東京市長代理

東京市助役 岡田忠彦

東京市會議長小島七郎殿

(別紙寫)

願

小生儀

市長就職御裁下ト同時ニ退職致度候條市制第七十五條第三項ニ依リ明二日ノ市會ニ於テ承認ヲ受ケラレ候様御取

大正年間 第四章 大正十五年 第貳拾九節 市長及助役退任ノ件

計相成度候也

大正十五年七月一日

東京市長代理

東京市助役岡田忠彦殿

東京市助役

岡田忠彦

第參拾節 市長選舉並ニ助役決定ノ件

▽市長選舉ノ件 六月二十五日ノ會議ニ於テ、市長選舉ヲ行ヒタル結果、第一候補者ニ左ノ如ク伊澤多喜男君當選セリ。

投票總數 八十五票
有效投票 八十五票

(當選)

五十票 伊澤多喜男
三十票 鎌田榮吉

引續キ第二候補者ノ選舉ヲ行ヒタルニ、川崎卓吉君當選セリ。

投票總數 八十五票
有效投票 八十五票

(當選)

五十票 川崎卓吉

三十四票 岡田忠彦
一票 松岡均平

次ニ第三候補者ノ選舉ヲ行ヒタルニ、清野長太郎君當選セリ。

投票總數 八十五票
有效投票 八十五票

(當選)

五十一票 清野長太郎
三十四票 田川大吉郎

▽伊澤市長就任ノ辭

七月十七日ノ會議ニ於テ新任伊澤市長ハ、今回揣ラズモ諸君ノ御推薦ヲ受ケ東京市長ノ重職ニ當ルハ余ノ頗ル光榮トスル所ナリ、東京市ハ輦轂ノ下、天下環視ノ中心都市ニシテ、範ヲ全國ニ示スベキハ勿論、世界有數ノ都市トシテ、實質、形容トモニ充實完備スルノ必要アリ、殊ニ先年ノ大震火災ニ依リ、諸般ノ設備ハ根本的ニ覆サレ今ヤ正ニ復興ノ途上ニ在リ、故ヲ以テ其任務モ亦甚ダ重大ナリト云ハザル可ラズ、余ハ此際平素公生活ニ於テモ、私生活ニ於テモ、正シク強キ信念ヲ以テ事ニ當ルノ覺悟ヲ有スルモノナルガ、市政ノ事務ニ關シテハ、特ニ此精神ヲ強調シ、兼テ圓滿和平、協調偕和、二百萬市民ガ渾然一體トナリテ一大人格ヲ形成スルニ努メザル可ラズ、彼ノ熱烈ナル愛市ノ精神モ其淵源ヲ此所ヨリ發シ、萬般ノ事業モ亦、斯クシテ圓滿ニ促進セラルベシ、余ハ此際抱負、經倫等ヲ述ブルコトヲ避ケ、東京市ノ非常時ニ際リテハ、只以上ノ強キ信念ヲ以テ、全力ヲ傾注センコトヲ努ムベキニ依リ、特ニ諸君ノ御指導御援助アランコトヲ乞フト述ベタリ。

▽助役決定ノ件 七月十七日ノ會議ニ於テ、左記助役推薦ノ件ヲ附議シタリ。

大正年間 第四章 大正十五年 第參拾節 市長選舉並ニ助役決定ノ件

財發第九七〇號

左記ノ者本市助役ニ推薦致候條御決定相成度候也

大正十五年七月十七日

東京市會議長小島七郎殿

東京市長 伊澤多喜男

丸山鶴吉

山口安憲

松本忠雄

右ニ就キ茂木久平君ヨリ、讀賣新聞紙上ニ於テ、松本忠雄君ノ人格上ニ就キ忌マハシキ記事ヲ掲載シツ、アルガ、右ハ果シテ事實ナリヤトノ質問アリ。伊澤市長ハ、事實無根ナリト答辯シ、他ニ意見ナク右三助役ヲ承認セリ。

第參拾壹節 伊澤市長竝ニ三助役辭任

十月二十三日ノ會議ニ於テ、丸山助役ハ、伊澤市長ハ健康勝レザルノ故ヲ以テ遺憾ナガラ辭職ヲ申出デラレタリ、仍ツテ本會ニ於テ御承認アランコトヲ請フ。尙伊澤市長ノ推薦ニ依リ就任シタル吾々三助役モ茲ニ辭表ヲ提出シタルニ依リ、併セテ御承認アランコトヲ乞フ。市長始メ就任後日尙淺ク、諸君竝ニ市民諸君ニ對シ親ムノ機會ナク退職スルハ、残念ノ極ミニシテ、誠ニ責任ノ重大ナルヲ痛感スル次第ナルモ、事茲ニ至リシハ已ムヲ得ザル事情ニ因ルモノニシテ特ニ諒察アランコトヲ望ム、唯吾々ハ數箇月間市政ニ執筆シタルニ過ギザレドモ、其間體得シタル智識、經驗ハ、

假令退職スルモ直接又ハ間接ニ東京市政上ニ奉公スルノ一助トナサンコトヲ期シツ、アリ、此機會ニ於テ、在職中懇篤ナル御指導ト御援助トヲ賜ハリタル諸君ニ對シ、特ニ篤ク感謝ノ意ヲ表セントスト述ベタリ。

内秘第一、三八八號

本日別紙寫ノ通辭職届出候間市制第七十三條第三項但書ニ依リ右退職方最近ノ市會ニ於テ承認候様御取計相成度候也

大正十五年十月二十日

東京市長 伊澤多喜男

東京市會議長小島七郎殿

(寫)

御 届

拙者儀健康不十分ニ付辭職致候此段及御届候也

大正十五年十月二十日

東京市長 伊澤多喜男

東京市助役丸山鶴吉殿

右小島議長ヨリ、滿場ニ諮リ、何レモ異議ナク之ヲ承認セリ、夫レヨリ引續キ助役丸山鶴吉、山口安憲、松本忠雄三君ノ辭職ノ件ヲ諮リ、是又異議ナク承認セリ。

第參拾貳節 市長選舉並ニ助役決定ノ件

▽市長選舉ノ件 十月二十九日會議ヲ開キ、市長選舉ノ件ヲ附議シタルニ、大崎清作、小坂久馬吉兩君ヨリ、市長選舉延期ノ動議提出アリ、小坂君ハ更ニ、同年六月市會改選後間モナク新市長ヲ迎ヘタルニ、在任甚ダ僅少ニシテ退職セリ。今ヤ本市ハ財政ヲ建直シ、行詰レル事業ヲ遂行スベキ重大ナル時期ニ直面スルヲ以テ、市長ノ銓衡ハ慎重ナラザル可ラザルニ、曩ノ市會ニ於テハ協議會ヲ開キ、各派協調ノ上、市民ノ負託ニ背カザル市長ヲ選舉スルニ決シタルガ、余ハ其經過ニ就キ満足セザル一員ナリシナリ、今回ノ市長選舉ニハ、協調ニ依ル能ハズ、決選投票ニ待タントスルニ至リタルハ遺憾ナリトテ自治體ノ本義ヲ説キ、東京市政ノ現状ヲ詳述シ、立憲政治ガ多數政治ナルハ余モ亦之ヲ知ラザルニハ非ラザルモ、自治體ニ在リテハ成ルベク一致ノ歩調ヲ以テ進ムヲ定石トスルニ非ラズヤト説キ、革新會ハ敢テ協調ヲ破リ、多數黨橫暴ノ態度ヲ以テ市長選舉ニ臨マントストテ其態度ヲ難ジ、中村舜二君モ亦、後任市長ヲ物色スルニ當リテハ、二百萬市民ノ心事ヲ理解スル人材ヲ天下ニ求メザル可ラザルヲ以テ、吾ガ中正會ハ中正、公平ナル態度ヲ以テ、慎重審議事ニ當レリ、然ルニ革新會ハ、嘗テ伊澤市長ヲ選舉スルニ際リ、何等市會各派ニ諮ル所ナク、多數ノ意思ニ依ツテ之ヲ推薦シタルガ、今回ハ其傳統ヲ破リ、圓滿協調ニ依リ白紙ヲ以テ臨ムベシト提議シ來リタルヲ以テ、中正會及正交會モ、翻然トシテ革新會ノ主張ニ共鳴シ、一切ノ感情行懸リヲ一掃シテ、市長ノ銓衡ニ當ランコトヲ期セリトテ、十月二十四日赤坂山王星ケ岡茶寮ニ於ケル第一回銓衡委員會以來ノ經過ヲ詳述シタル後、革新會ハ遂ニ友黨トノ誓約乃至公論ヲ一蹴シテ西久保弘道君ヲ推薦スルニ決シ、吾々ニ對シテ逆マニ之ガ承認ヲ要求シ來レリ、斯クノ如キハ不信ノ甚シキモノナリト説キ、内務大臣官邸ニ於ケル西久保君トノ折衝ノ顛末ヲ述ベ、最後ニ

革新會ノ諸君ハ、其態度ヲ一變シ、茲ニ改メテ協調ノ實ヲ舉グベク正交會ノ提案ニ係ル延期ノ動議ニ賛成センコトヲ望ムト縷陳スル所アリ、斯テ議長ハ、延期ノ動議ヲ起立ニ諮ヒ、少數ト宣シタルニ、異議アリノ聲響シカリシヲ以テ、指名點呼ヲ行ヒタルニ、出席總數八十四名中、延期ノ動議ニ賛成スル者三十四名、反對スル者五十名ニテ、延期ノ動議ハ消滅ニ歸シ、直チニ市長ノ選舉ニ移レリ、其結果投票總數八十五票、有效投票八十五票ニテ、左ノ如ク西久保弘道君當選セリ。

(當選)

五十一票	西久保弘道
三十三票	藤山雷太
一票	添田壽一

▽西久保市長就任ノ辭 十一月五日ノ會議席上、西久保新市長ハ、今回圖ラズモ東京市長ニ當選シタルガ、不肖能ク其職責ヲ盡シ得ルヤ否ヤ懸念ナキ能ハズ、東京市ハ帝國ノ首府ニシテ山積セル幾多ノ事業ヲ有シ、特ニ復興ニ伴フ一切ノ事業ニ對シテハ、一層責任ノ重大ナルヲ感ゼザルヲ得ズ、然レドモ余ハ永キ官吏生活ニ於テ、未ダ嘗テ過失ナク、怠慢ノ謗リヲ受ケタル經驗ヲ有セズ、今後市政ニ臨ムニ際リテハ、常ニ此決心ト覺悟トヲ以テシ、同心協力、誠心誠意、夙夜奮勵努力シテ、以テ重任ヲ果サント欲ス、何卒御同情、御後援ヲ賜ハランコトヲト述ベテ挨拶セリ。

▽助役決定ノ件 十一月五日ノ會議ニ於テ、西久保市長ノ推薦ニ係ル、左記三助役ヲ承認シタリ。

財發第一、四〇九號

十一月二日御通知致置候本市助役左記三名推薦致候條本月五日ノ市會ニ於テ御決定相成度候也

大正十五年十一月四日

大正年間 第四章 大正十五年 第參拾貳節 市長選舉並ニ助役決定ノ件

東京市會議長小島七郎殿

東京市長 西久保弘道

記

勝	正	憲
大	西	一郎
松	本	忠雄

第參拾參節 常設委員選舉問題

▽常設委員選舉ノ件 六月十九日ノ會議ニ於テ、學務委員、養育院常設委員、衛生常設委員、恩賜公園常設委員ノ選舉ノ際戸倉嘉市君ノ動議ニ據リ、右ハ之ヲ一括シ、選舉ノ方法ヲ省略シテ、議長指名ト爲スニ決シタリ。然ルニ七月二日ノ會議ニ於テ、此事端ナクモ一問題ヲ惹起スルニ至レリ。同日小島議長ハ去月十九日ノ本會議ニ於テ、議長指名ヲ一任サレタル常設委員ハ、其指名ニ當リ從來ノ慣例上、各派交渉ノ結果、其申出デヲ待テ、去月三十日、文書ヲ以テ指名通告シタリ、然ルニ其翌七月一日ニ至リ新法律(市制)實施ノ結果、是等ノ委員ハ、凡テ市長ノ推薦ニ依リ市會ニ於テ定ムルコト、ナリシ爲、本會ノ慣例ニ依ル指名承認ハ、法律上不可能トナレリ、故ニ改メテ市長ノ推薦ニ依リ委員決定ノ手續キヲ取ルベキモノナリト信ズト述ベタルニ對シ。戸倉嘉市君ハ賛成ノ動議ヲ提出シ、岡田助役ハ余ハ理事者トシテ議長ノ發言ニ對シ質問セントス、大正十五年六月三十日東京市會議長小島七郎、東京市長代理岡田忠彦殿宛通知書ヲ一讀スルニ「六月十九日開會ノ市會ニ於テ市學務委員、市養育院常設委員、市衛生常設委員、市恩賜

公園常設委員選舉ヲ行ヒシ所、左記ノ通當選候補條此段報告候也」トアリ、仍テ余ハ市ノ理事者トシテ右報告ヲ信ジ行動シツ、アリ、然ルニ唯今ノ小島議長ノ報告ハ甚ダ腑ニ落チズ、何卒詳細説明アランコトヲ乞フト質スヤ。小島議長ハ、右書類ハ先例ニ據リシニ過ギズト答辯ス、此時戸倉嘉市君ハ、六月十九日ノ會議ニ於テ、議長指名ノ動議ヲ提出シタル一人ナリトテ、市制第五十五條ニ依ル指名推薦ノ經過ヲ述ベ、且ツ斯クシテ指名推薦サレタル議員ヲ市會ガ承認シテ、茲ニ始メテ委員ノ成立ヲ見ル順序ナリト説キ、市制第八十三條ノ場合ニ限ル常設委員ノ選舉モ亦、同様ノ先例ヲ繰返シツ、アル實例ヲ述ベ、文理解釋上、慣例上何等差支ナク、主務官廳ニ於テモ亦、同様ノ解釋ヲ執リツ、アリ、果シテ然ラバ、議長ハ其受任ノ權限ニ基キ、市會ニ於テ指名推薦シタル所ノ委員ノ氏名ヲ、改メテ議場ニ諮ルベキ順序ナリトス、然ルニ今日ノ議場ニ於テハ、既ニ改正市制ガ七月一日ヲ以テ實施セラレ、之ヲ議場ニ諮ルベキ術ナキニ至レルナリ、即チ之ヲ要約スレバ、六月三十日迄ハ議長ハ受任セラレタル範圍ニ於テ、其權限ヲ行使シ得タルモ、七月一日以後ハ改正市制ノ明文ノ示スガ如ク、如何トモスベカラザルニ至リシナリ、故ニ各委員ハ改正市制ニ依リ、改メテ市長ヨリ推薦セラレ、然ル後當市會ニ於テ決定スベキモノナリト信ズト述ベ。吉井濱治郎君ハ、議長ガ、六月三十日ニ執リタル指名推薦ノ手續ハ有效ナルヲ以テ、改メテ議場ニ諮リ指名スベキモノニ非ラズト信ズト述ベ。岡田助役、ハ議長唯今ノ發言ハ、理事者トシテ頗ル重大ナル問題ナリ、苟モ市會議長ガ公文書ヲ以テ市長代理タル余ニ通知シタルモノヲ、一ノ慣例ナリトテ之ヲ取消スガ如キハ意外ナリ、議長ハ果シテ之ヲ反古トシテ取扱ハントスルカ、或ハ又有效ナリトシテ取扱ハントスルカト質シ、議長ハ、先刻申上ゲタル通り、慣例ニ據リシモノナリト答辯シ。田中康三君ハ、六月十九日ノ會議ニ於テハ、市制第五十五條ニ依リ、議長ニ指名推薦ノ件ヲ委任シタリ、茲ニ於

テ議長ハ、舊市制ノ布カレツ、アリシ六月三十日ニ於テ、適法ニ指名推薦シ、公文書ヲ以テ其旨理事者ニ通告セリ、然ルニ七月一日ヨリ新市制ノ實施ヲ見ルニ至レリトシテ、唯今ノ發言ニ依リ之ヲ空文ニ歸セシメタリ、斯クノ如キハ、市政ノ前途ニ惡例ヲ貽スモノニシテ默過スベカラザル問題ナリト主張シ。栗原彦三郎君ハ、本問題ハ市制ノ明文ニ照ラシ議論ノ餘地ナキ所ナルヲ以テ、討論ヲ終結スベシトノ動議ヲ提出シ、議長ハ賛否ヲ起立ニ諮ヒ、動議ニ賛成スルモノ多數ト宣シタルモ、異議アリノ聲盛ニ起リ、議場騒然タリシ爲指名點呼ヲ行ヒタルニ、出席總數八十一名中四十七名ノ多數ニテ討論終結ニ決シタリ。

此ノ時瀧澤七郎君ハ、本日ノ議場ハ甚シキ喧噪ニ陥リ、未ダ嘗テ見ザルノ状態ヲ呈現スルニ至リシハ遺憾ナリ、余ハ唯今發言ノ通告ヲ爲シ、當然其許可アルモノト確信シタルニ、議長ハ漫然余ノ發言ヲ中止シタリ、斯クノ如キハ議事進行上由々數大事ナリトス、今回ノ委員問題ハ、去月十九日ノ會議ノ日程ニ上リタルモノナルガ、之ガ委員ヲ指名スルニ十數日ヲ費シ、而モ尙ホ此失態ヲ演ジ、平然トシテ議長席ニ坐スルハ何事ゾ、余ハ茲ニ議長不信任ノ動議ヲ提出スト述ブ。(議場騒然タリ)次イデ田中君ハ、余ハ遺憾ナガラ茲ニ議長不信任案ヲ提出セントス、自己ノ權限ヲ不適法ナリ、不當ナリト自白シ、自己名儀ノ文書ヲ何等價値ナシト爲スガ如キ議長ヲ頂イテ、何ノ顔アツテ市民ニ見ユベキヤ、甚ダ遺憾ナレドモ小島議長ハ議場整理ノ能力アリヤ否ヤ疑ハシキヲ以テ、左ノ提案ヲ爲サントス。

本市會ハ議長小島七郎君ヲ信認セズ

右動議ヲ提出ス

大正十五年七月十二日

提出者 田中康三

賛成者 小坂梅吉 外二名

茲ニ於テ戸倉君ハ、學務委員其他ニ關スル問題ハ、栗原君ノ提議ニテ、討論終結ノ動議確定セルニ依リ、先刻余ノ述べタル意見ニ對シ、賛否ノ決ヲ採ランコトヲ望ムト述べ。小島議長ハ、田中康三君ヨリ提出ノ動議ヲ上程セントスレバ、日程ヲ變更セザル可ラズ、仍テ日程變更ニ賛成ナル諸君ノ起立ヲ望ムト述べ、起立者少數ト宣シタルモ、異議アリノ聲盛ナリシヲ以テ、指名點呼ヲ行ヒタルニ、出席總數八十一名中、反對者四十八名ニテ、日程ノ變更ハ否決サレ、戸倉君ノ動議ニ就キ採決シタルニ、起立者多數ニテ同君ノ動議成立セリ。

越エテ七月二十九日ノ會議ニ於テ、伊澤市長ノ推薦セル委員ヲ承認シタリ。

▽市會ノ議決ニ關スル質疑應答 七月二十九日ノ會議ニ於テ、立川太郎君ハ、市會ノ議決ニ關シ左ノ質問書ヲ提出セリ。

一、市會ノ議決ニ依リ議長ヨリ指名推選サレタル市常設委員タルノ資格ト市條例ニ依リ市理事者ヨリ選定サレタル市常設委員長タルノ資格ヲ市會ガ正當ノ理由ナクシテ剝奪セルモ現理事者ハ此ノ議決ヲ以テ市會ノ權限ヲ越ヘタルモノト認メサルヤ尙此ノ如キ議決ハ一事不再議ノ原則ニ背キ將來ニ惡例ヲ遺スモノト認メサルヤ

一、市會ノ議決(六月十九日)ニ基キ市議長カ指名推選(六月三十日)シタル市常設委員ト市會議長ノ公文書ニヨル報告ニ基キ市理事者カ其ノ當然ノ職務權限ニヨリ選定シタル市學務委員長及市養育院常設委員長等ハ現在何レモ有效ナリト前理事者ハ解釋セリ現理事者ノコレニ對スル見解竝ニ處置如何

斯クテ同君ハ、右質問ノ要旨ヲ布衍シテ曰ク、一般市會議員ハ、自己ガ議決シタル議決ニ基キ、議長ガ指名推薦シタルモノハ、總テ推薦ニ依ル委員トナリタルモノト信ズベキ法律上ノ根據アリ、又理事者モ、議長ヨリ「選舉ヲ行ヒ

シ處、左記ノ適當選候補條此段報告候也」トノ公文書ヲ手交サレタル以上、是亦當選シタリト認ムルヲ至當ナリトス。故ニ現在ニ於テモ是等常設委員及議長ノ報告ニ依リ理事者ガ其職務權限ニ據ツテ選定シタル委員長ハ、何レモ有效ナリト見做サル可ラズ、然ルニ伊澤市長ハ新ニ各種委員ヲ左記ノ通り推薦致候條御決定相成度候也トシテ、以前議長ノ指名推薦セル委員ヲ認メズ、新規推薦ノ形式ニ依リ、市會ノ承認ヲ求メントスル態度ニ出デタルハ不都合ナリト考フ、現理事者ガ議長ノ指名推薦セル委員ヲ無効ナリト爲ス法律上ノ根據果シテ如何ト。丸山助役ハ、理事者モ市制第五十五條ニ依ル指名推薦ハ、必ず市會ニ於テ爲スベキモノナリトノ解釋ヲ取リツ、アルヲ以テ、其指名推薦ニ依ル選舉ノ形式ヲ無効ナリトハ言ハズ、唯右選舉ノ效果ノ發生セザル中ニ新市制ノ發布ヲ見ルニ至リタル爲、新市制ノ命ズル所ニ從ヒ、新ニ推薦ノ方法ヲ執リタルニ過ギズト答辯シ、議場喧嘩裡ニ立川君及丸山助役間ニ、同一問題ノ法的解釋竝ニ取扱方等ニ關シ、幾多ノ質疑應答ヲ重ネタルガ、結局立川君ハ、斯ル方法ガ將來ニ向ツテ惡例ヲ貽サルモノト信ズルカトノ問ニ對シ、丸山助役ハ、貽サルモノト信ズト答辯シテ應答ヲ終レリ。

▽議事整理ニ關スル質疑應答 七月二十九日ノ會議ニ於テ、小島龜藏君ハ、左記質問趣意書ヲ朗讀シテ、小島議長ニ答辯ヲ求ムル所アリ。

去ル六月三十日附發送學務委員外委員ノ當選通知ハ六月十九日市會議決ニ基ツキ議長ヨリ指名セラレ從テ該各委員ハ委員ノ職責ヲ實行シ充分效果ヲ生スル者ト自信セラレ發送セラタルモノト認メテ可ナルヤ
市會ハ六月十九日市常設委員ノ選舉ニ際シ委員ノ指名ヲ議長ニ一任シタリ議長ハ當日直チニ指名スヘキモノナルニ不拘指名ヲ怠リ超エテ六月二十五日ノ市會ニ於テモ再タビ指名ヲ怠リ而シテ市會開會日ニ非ラザル六月三十日

ニ至リ急遽之レガ指名ヲナシ當選通知ノ公文書ヲ發送シタル理由如何

七月二日ノ市會ニ於テ番外一番ヨリノ質問「市學務委員市養育院常設委員市衛生常設委員恩賜公園常設委員ノ選舉ヲ行ヒシ處左記ノ通り當選候補條此段御報告候也」ト斯様ナル公文書ヲ送り之レニ依テ理事者ハ行動セルニ對シ議長ノ説明ガ腑ニ落チズト云フ質問ニ對シ議長ハ先例ニ依ツテ通知及報告ヲナシタリト答辯シテ居ルガ委員全部效果ヲ生セザルモノト知りツ、公文書ヲ以テ通知シ且ツ報告シタ先例ガ何處ニアルヤ其ノ先例ヲ詳細ニ示サレタ

イ
六月十九日ヨリ本日ニ至ル四拾餘日ニ亘リ市常設委員ノ效力ニ關シ徒ラニ論議シ各委員會ヲ開會スル能ハズ全ク無制度ノ状態ニ陥シ入レタルハ議長ガ不用意ノ失言ニ原因セルモノト認ム其ノ責任ノ何レニアルヤ明ラカニセラレムコトヲ望ム

七月二日ノ市會ニ於テ小島議長ガ各委員ノ當選指名ヲ通告シタガ七月一日ヨリ新市制ニ準據シ新市長ノ推薦ヲ待ツテ右委員ヲ市會ニ於テ決定スベキ手續キヲトルベキモノト信ジマスコノ點ニ於テ一應諸君ノ御意見ヲ承ハリタイノデアリマスト即チ議長ガ議場ニ諮ツテ居ルニ關シ五十一番戸倉君ハ議長ノ意見ニ賛成シ且ツ他ノ議員ノ賛成ハ求メテハ居ルガ自己ノ動議トシテハ提出シテハアリマセ然ルニ議長ハ直チニ五十一番ノ動議ニ賛成者ガアリマス云フテ居ルガ議長ハ自己ヨリノ諮問ヲ忘レ專斷ヲ以テ動議ニ非ザルモノヲ動議トシタル理由如何

五十一番戸倉君ノ賛成ガ動議ニ非ラザルニモ係ハラズ之レヲ動議トナシタルノミナラズ之レヲ議題トシテ日程ニ上スヤ否ヤヲ議場ニ諮ラズシテ議題トナシ討論ヲ許可シ更ニ討論終結ノ動議トナリ且ツ採決ヲナシタル理由如何
五十一番ノ賛成審議中八十二番瀧澤七郎君ノ小島議長不信任ノ動議(多數ノ賛成者アリ)及四十番田中康三君ノ議

長小島七郎氏ノ不信任ノ兩案アリタルニ對シ議長ハ田中君ノ不信任案動議ニ對シ採決ヲナシ瀧澤君ノ不信任案動議ニ關シテハ何ノ處置ヲ爲サハリシ理由如何

且ツ議長不信任案ハ瀧澤君及田中君提出ノ兩案共ニ議長ノ手元ニ存置シアルニ拘ハラズ前回竝ニ本日ノ日程ニ上程セザル理由如何

五十一番ノ賛成ヲ採決スルニ當リ議長ハ起立ニ依リテ採決ヲ爲シタリ採決ニ異議アル時ハ指名點呼ヲ行フベシト市會會議規則第三十條ニ明記シアルニモ係ラズ小島議長ハ宣告ヲ致シマシタカラ異議ヲ認メマセント放言シ會議規則ヲ無視シタル理由如何

右ニ對シ、小島議長ハ、第一、議長ノ名ヲ以テ發シタル通知ハ先例ニ從ヒ、委任サレタル指名推薦ノ手續ヲ履行シタルニ過ギズ、從ツテ更ニ議場ノ承認ヲ經ベキモノナリト信ジ居レリ。第二、内部ノ事情ハ申上兼ヌルモ、議長指名ノ場合、其指名ハ各派ヨリノ申出デヲ待ツヲ先例トス、從ツテ先般ノ場合モ同様ノ手續ヲ執リタル次第ナルガ、當時或一派ヲ除クノ外何レモ六月三十日ニ至リテ漸ク申出デアリタルニ依リ早速手續ヲ取運ビタル次第ニア、本職ニ怠慢ノ責アリトハ信ゼズ。第三、岡田助役ヨリ文書ニ就キ質問アリシニ依リ、右ハ先例ニ依リテ答ヘタリ。第四、責任何レニ在リヤトノ問ニ對シテハ本職ヨリ答辯ノ限リニ在ラズ。第五、戸倉君ヨリ議長ノ意見ガ正當ナリトノ意見アリ、之ニ對シ多數ノ賛成者アリシニ依リ、先決事項トシテ決定シタル次第ナリ。第六、第五ニ於テ答辯シタル點ニ付諒解アリタシ。第七、瀧澤君ノ動議ニハ制規ノ賛成者ナシト認メタリ、又田中君ノ動議ハ當日論議スベキモノトシテ提出セラレタルガ爲、當日ノ日程ニ上程スベカラズト決定セルニ依リ、自然消滅ニ歸セリト解釋シ居レリ。第八會議規則第二十七條ニ依リ處理セルモノナリト答辯セリ。

第參拾四節 會議規則中改正

左案ハ七月十七日ノ會議ニ上程、異議ナク之ヲ可決セリ。

東京市會會議規則中改正ノ件

右提出候也

大正十五年七月十七日

提出者

戸倉嘉市	倉田金三郎	瀬川光行
瀧澤七郎	金子東一	立川太郎
松井錦橋	國枝捨次郎	田中康三
坪野房治		

東京市會議長小島七郎殿

東京市會會議規則中改正ノ件

東京市會會議規則中左ノ通改正ス

第五條中「會議三日前」トアルヲ「會議前三日目迄ニ」ト改ム

理由

大正十五年法律第七十四號ヲ以テ市制改正ノ結果本規則亦改正ノ要アルニ因ル

大正年間 第四章 大正十五年 第參拾四節 會議規則中改正

第參拾五節 市政ニ關スル質疑應答

九月九日ノ會議ニ於テ、左ノ質疑應答アリタリ。

瀧澤七郎君 新聞紙ノ傳フル所ニ據レバ、第一、市會ニ於テ議決セル地下鐵ヲ民間ニ委讓ストアルモ、右ハ果シテ事實ナリヤ。第二、電氣局電燈部ノ存立ハ危マレツ、アルガ、右ハ東京電力ガ安價ナル電氣料ヲ以テ隣接郡部及東京市ノ電氣料ノ値下ヲ行ヒ、以テ競争ノ態度ニ出デツ、アルガ爲ナリト信ズルガ、市ノ電燈部ノ經營方針如何。第三、新聞ニ依レバ、復興事業ハ國ト市ガ並行シテ促進シツ、アル次第ナルモ、市ノ事業遅々トシテ進マザルヲ以テ國ニ統一シテハ如何等ノ記事掲載サレ居ルモ、余ノ關スル限リニ於テハ、國ノ事業ハ市ニ比シテ却ツテ遅々タルモノアルノミナラズ、無用ノ費目ヲ費シツ、アル事實アリ、然ルニ市ハ眞面目ニ忠實ニ事業ヲ遂行シ居レルヲ以テ、一時二十五人ノ繩付ヲ出シタル復興局ニ委託スルガ如キハ、却ツテ促進ノ實ヲ舉グル能ハズト信ズルヲ以テ、寧ロ市ヲ中心トシテ進ムルヲ可ナリト信スルガ、理事者ノ所見如何。第四、電氣局ハ電車ガ閑散ナルニ拘ラズ、追加豫算ニ依ツテ既製十臺、半製品五十臺ヲ製作スルノ案ヲ市參事會ニ提案セリト云フガ、右ニ對スル所見ヲ問フ。

伊澤市長 地下鐵ヲ民間ニ委讓セヨトノ願書ハ十日程以前ニ入手シ居レリ、右ハ調査ノ必要ハ之レアリト信ズルモ、理事者トシテ市自身ガ經營スベキモノナリト考ヒ居レリ。復興事業ノ統一問題ハ、前理事者時代ヨリノ研究題目トナリ居レルモ、未ダ成案ナキヲ以テ何レトモ明答スル能ハズ。

大道電氣局長 電燈事業ノ危機ハ全ク事實ニ相違セリ、十四年度ニ於テハ、電燈事業開始以來始メテ八十萬圓近

キ剩餘ヲ見ルニ至リ、十五年度ニ於テモ相當ノ實績ヲ舉ゲ、獨立ノ存在ヲ全フシ得ベシト信ズ。東京電力及東京電燈ガ値下ノ競争ヲ爲シツ、アルハ事實ナリ。其ハ五十馬力以上ノ電力供給ニ就イテナルガ、五十馬力以下ニ就イテモ値下ノ傾向アリ、此ハ本市ニ有利ナル事柄ニシテ、而モ東京電力及ビ東京電燈トノ契約ハ一箇年ナルヲ以テ、適當ニ契約ノ更改ヲ爲シ得ベシ、只大口契約ヲ爲セル鬼怒川電氣會社トハ、十箇年ノ契約ニテ、其間ニ契約ノ更改ハ困難ナルモ、交渉ノ如何ニ依リテハ考慮ノ餘地アルベク、從ツテ電力ノ小賣値段モ或程度迄ハ値下ゲシ得ベシト信ズ。電車事業ノ閑散ナル時ニ、車輛ヲ新造スルハ如何ナル理由ナリヤトノ質問ニ答フベシ、成程車輛ハ唯今ノ輸送量トシテハ充分ナルモ、御承知ノ如ク右ハ悉ク木製ニ屬スルモノナルガ、時代ノ進運ハ今ヤ總鋼製又ハ半鋼製ノ車輛ヲ要求シツ、アリ、依ツテ是等ノ車輛ヲ自家工場ニ於テ製造スルハ、當ニ切實喫緊ノ時務タルニ止マラズ、閑散時ニ於テ職工ノツナギニ之ガ製造ニ從事セシムルコトハ、實驗ノ上ヨリ將タ設計諸般ノ研究ノ上ヨリ、頗ル適切有效ナリト信ズルモノナリ。

瀧澤君 更ニ水道局長ニ問ハン、本年ノ市會ニ於テハ、水道局擴張事業ニ對シ、「今回ノ擴張計畫ハ資源ノ關係上已ムヲ得ザルモノアリト認ムルモ、本市將來ノ發展ヲ豫想シタル對策トシテハ未ダ以テ萬全ナリト謂フヲ得ズ、理事者ハ尙ホ豫想セラル、大東京實現ノ場合ト一面雜用水、防火用水ノ供給ニ關シテモ充分ノ考慮ヲ加ヘ以テ本市上水道事業上百年ノ長計ヲ樹ツルコトニ最善ノ用意ヲ拂ハレムコトヲ要望ス」トノ附帶決議ヲナシ、速ニ水源ノ調査ヲ完了シ、百年ノ大計ヲ樹立スベシト要望セルニ對シ、局長ハ其後如何ナル方法手段ヲ執リツ、アリヤ。小川水道局長 當局トシテハ、各水系竝ニ地下水等ニ就キ、現ニ全力ヲ盡シテ調査ヲ進メツ、アリ。

第參拾六節 保健衛生

▽市立病院使用料條例設定ノ件 左案ハ九月九日ノ會議ニ上程サレタリ。
第二百二十二號

東京市立病院使用料條例設定ノ件

東京市立病院使用料條例左ノ通設定スルモノトス

東京市立病院使用料條例

第一條 東京市立病院ハ本市住民ニシテ市長ノ承認ヲ受ケタル傷病者ヲ診療ス但本市住民ニ非サル者ト雖モ市長ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ之カ診療ヲ爲スコトアルベシ
第二條 診療ハ無料トス但本市住民ニシテ市長ニ於テ相當ノ資力アリト認ムル者及本市住民ニ非サル者ニ對シテハ使用料ヲ徵收ス

前項ノ使用料ハ一日二圓五十錢以內ニ於テ市長之ヲ定ム

第三條 使用料ハ之ヲ前納セシム但シ市長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ分納又ハ後納セシムルコトヲ得

第四條 患者死亡シ死體引取人ナク他ニ據ルヘキ處置方法ナシト認ムルトキハ市費ヲ以テ埋葬スルコトアルヘシ

第五條 死體ヲ剖檢ニ付シタルトキハ遺族若クハ身元引受人ニ祭葬料ヲ交付ス但市費ヲ以テ埋葬スル場合ハ此限ニ在ラス

第六條 特別病室ノ使用ニ付テハ本條例ヲ適用セス

第七條 本條例施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

説明 帝都復興計畫ニ依リ建設セラルヘキ市立病院五所ノ内廣尾ハ本年十月一日ヨリ大久保ハ明年二年一日ヨリ開院ノ豫定ニ付キ之カ使用ニ關シ使用條例ヲ設定スルノ必要ヲ認メ本案ヲ提出ス。

本案ハ、小俣政一君ノ動議ニ依リ、議長指名十五名ノ委員ニ調査ヲ付託スルニ決シ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク選定セリ。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 橋本直一 | 深山彦平 | 杉野善作 | 西村吉兵衛 | 森原嘉逸 |
| 若林成昭 | 河井榮三郎 | 藤浦富太郎 | 小俣政一 | 岡本瀧雄 |
| 國枝捨次郎 | 原伊三郎 | 中川重政 | 瀧澤七郎 | 平林發司 |

委員ハ若林成昭君ヲ委員長ニ、杉野善作、藤浦富太郎、岡本瀧雄、國枝捨次郎ノ四君ヲ理事ニ推シ、審議ノ末、九月二十五日ノ會議ニ於テ、原案通可決セル旨報告、委員會ノ報告通可決セリ。

▽塵芥焼却場建設工事中止ニ關スル質疑應答 九月二十五日ノ會議ニ於テ古島宮次郎君ハ、去ル二十二日ノ時事新報ニ據レバ、目下深川區洲崎埋立地ニ建設工事を急ギツ、アル低温乾燥装置ニ依ル塵芥焼却場ハ、既ニ市會ノ協賛ヲ得、基礎工事漸ク完成ニ近カラントシ、將ニ本工事を着手セントスル矢先、市長ハ突如トシテ之ガ工事中止ヲ命ジタリト報ゼリ、市民ガ鶴首シテ其竣功ヲ待望シツ、アルノ時、市長ハ如何ナル理由ニ依リテ中止ヲ命ジタルカト質問シ、松本助役ハ、右焼却場ハ岸一大博士ノ考案ニ基キ工事を着手セルモノニシテ、市ニ於テハ大正十年十月設置サレタル臨時汚物處分調査委員會ニ於テ、二年ノ久シキニ亘リ調査研究ヲ爲シタル次第ナルガ、當時同委員會ハ岸博士ノ考案ニ就テノミ研究ヲ遂ゲ、其他ノ塵芥處理法トノ比較研究ヲ爲サズ、加之同委員會ヨリハ、岸博士ノ考案ニ成ル塵芥處理ヲ實行スルニ當リテハ、更ニ岸博士ヨリ提出サルベキ第二ノ調査報告書ヲ考慮センコトヲ望ムトノ條件ヲ附シ

アリテ、岸博士ノ考案ハ最初ヨリ完全ナルモノトハ認め居ラザルナリ、其後本案ガ豫算トナリテ市會ニ提出サレタルトキ、參事會ニ於テ、小坂氏ヨリ該處理場ヨリ出ヅル生産物ニ關スル質問アリシニ拘ラズ、當時ノ理事者ハ之ガ研究ヲ爲サ、リシ爲、小坂氏ニ對シ、右ハ第二段ニ研究スベシト答辯シタル程ニテ、此點充分疑問ヲ挾ムベキ餘地アリシナリ、然ルニ其後工事ニ着手シタルモ、現理事者トシテハ此儘工事ヲ進ムルトシテモ、塵芥其物ノ處理ノ途ハ開キ得ルニセヨ、其工場ヨリノ生産物ヲ處理スル能ハズトセバ、第一ノ難關ハ突破シ得ルトシテモ、更ニ第二ノ難關ヲ迎ヒザル可ラザルニ至ルベク、從ツテ參拾六萬七千圓ノ建設費ヲ要シ、年額拾四萬圓ノ經常費ヲ要スル本工場ノ工事ヲ進ムルコトハ、本市ノ爲適當ニ非ラズト認めタルニ因ル、然レドモ本市ニハ今ヤ相當ナル學識、經驗ヲ有スル専門技師アルヲ以テ、是等ノ人々ニ依リ調査研究ヲ遂ゲ、今日既ニ設計モ完了シ居ルヲ以テ、岸博士考案ノ分ヲ一時中止スルモ、他ノ適當ナル方法ヲ以テ一日モ早ク建設ヲ實現シ、市民ニ迷惑ヲ及ササルノ措置ヲ講ズベキナリト答辯セリ。

▽健康保險組合設立ノ件 左案ハ、十月二十九日ノ會議ニ上程、異議ナク原案ヲ可決セリ。

第四百十七號

東京市健康保險組合設立ニ關スル件

本市ハ本市事業(電氣局所管事業ヲ除ク)ニ從事スル者ニシテ健康保險法第十三條ニ該當スル被保險者及同第十四條ニ依リ被保險者ト爲スコトヲ得ヘキ者ヲ以テ東京市健康保險組合ヲ設立スルモノトス

説明 健康保險法ノ施行ニ伴ヒ工場法ノ適用ヲ受クル工場ニ使用セラル、者ハ法令上被保險者トナリ其他ノ者ハ事業主ニ於テ被保險者ト爲スコトヲ得ルヲ以テ是等ヲ一括シ健康保險組合ヲ設立スルノ必要ヲ認め本案ヲ提出ス。

第參拾七節 交通ニ關スル常設委員會條例制定ノ建議

左記建議ハ九月九日ノ會議ニ上程、異議ナク原案ヲ可決セリ。

一 本市交通ニ關スル常設委員會條例制定ノ建議

右提出候也

大正十五年九月九日

提出者 全員 連署

東京市會議長 小島七郎 殿

本市交通ニ關スル常設委員會條例制定ノ建議

本市ノ交通問題ヲ解決スル目的ヲ以テ市制第八十三條ニ則リ之カ常設委員會ヲ設置スル爲メ市會議員十五名ヲ以テ組織スルノ條例ノ制定アラムコトヲ望ム

理由

本市ノ交通状態ヲ觀ルニ遺憾ノ點尠カラス之ヲ整備スル爲メニハ電車ヲ改善シ併セテ地下鐵道高架鐵道其他ノ交通機關ノ發達ヲ計リ之カ統一ヲ期スルノ要アリ即チ交通ニ關スル委員ヲ常設シテ一切ノ本市交通問題解決ノ衝ニ當ラシメムトス

第參拾八節 靜寬院宮追悼ノ件

大正年間 第四章 大正十五年 第參拾七節 交通ニ關スル常設委員會條例制定ノ建議 第參拾八節 靜寬院宮追悼ノ件

九月二十五日ノ會議ニ於テ、村松恒一郎君ヨリ、左ノ緊急動議ノ提出アリ、滿場一致之ヲ可決セリ。

今更申上グル迄モナク、故靜寬院宮關東御下向以來、本市民ノ爲ニ盡サレタル功績ノ偉大ナルハ、普ク之ヲ知悉スル所ナルモ、就中江戸城開城ノ際、一步ヲ誤レバ、江戸市中ヲ戰禍ノ巷ト化セシメントスル危急ノ場合ニ當リ、宮様ニハ、内部ニ於テ種々御幹旋御盡力遊バサレ、幸ニモ江戸ヲシテ其危難ヨリ免レシメ、今日ノ繁榮ヲ招徠スルニ至リタルハ、吾々市民ノ永久ニ忘ル、能ハザル所ナリ、今ヤ來ル十月二日ヲ以テ、故宮ノ五十年忌ヲ行ハル、ニ際シ、市民ノ代表トシテ何等カ適當ナル方法ニ依リテ、御追悼ノ意思ヲ表示センコトヲ望ム、而シテ其方法ハ之ヲ議長ニ一任セント欲ス。

右ニ對シ、十月二十三日ノ會議劈頭ニ於テ、小島議長ハ、先月二十五日ノ會議ニ於テ、靜寬院宮五十年忌ニ當リ、適當ナル追悼ノ意思表示ヲ本職ニ一任サレタルヲ以テ、本職ハ本月二日、即チ御法要當日故宮ノ靈前ニ追悼ノ詞ヲ捧呈セリト報告セリ。

第參拾九節 行政組織竝ニ施政方針ニ關スル質疑應答

▽市ノ行政組織ニ關スル質疑應答 九月二十五日ノ會議ニ於テ、市ノ行政組織ニ關シ、左ノ質疑應答アリタ。

瀧澤七郎君 余ハ伊澤市長就任ノ當夜、市會正交會幹事ノ一員トシテ市長ニ面會シタル際、談偶々人事問題ニ及ビタルニ、伊澤市長ハ嘗ツテ臺灣總督タリ、警視總監タリシ當時、公明ナル人事行政ヲ行ヒタル實際ヲ引證シ、市長トシテモ、漫リニ陶汰、鹹首等ヲ行ハズト言明シタリ、然ルニ近來種々ナル流言蜚語ノ行ハレツ、アルノミ

ナラズ、最近新聞紙ノ報ズル所ニ據レバ、六七人ノ區長ノ首ガ一時ニ何處ヘカ飛ビ去リ、余ノ居住スル區ノ區長モ亦、其中ノ一人ナリキ、嘗テ後藤新平氏ガ市長ニ就任スルヤ、安キ給料ノ官吏ニ二三倍ノ俸給ヲ與ヘテ、外部ヨリ市ノ要職ニ就カシメ、所謂後藤閣ヲ作りテ暗闘ノ種ヲ蒔キ、爲ニ市政ノ運用上多大ノ不便ヲ感ジタルコトアリ、伊澤市長ハ是等ノ弊ニ陥ラザル様、充分注意セラル、ナラント思料シタルニ、思ヒキヤ、早クモ頻々タル鹹首沙汰ヲ斷行シツ、アルノミナラズ、中ニハ運動ケマシキ事ヲ敢テシテ迄、要職ニ就カント試ムルガ如キ者アル由傳聞セリ、市長ハ本廳人事ハ勿論、特ニ區ノ人事ニ對シテハ其ノ人選ニ周匝ナル注意ヲ拂ヒ、市長ノ下、安ンデ其職務ニ身命ヲ擲ツ底ノ人物ヲ撰擇スルノ要意アランコトヲ望ム、右ニ對スル市長ノ所見如何。次ニ市ハ職制ヲ變更シ、道路、下水、河港ノ各課ヲ土木局ニ統一シ、以テ事業ノ重複錯綜ヲ避ケ、能率ヲ増進セントスルノ企テアリト云フガ、右ハ果シテ事實ナリヤ。尙ホ經理財務ノ兩事務ハ悉ク圓滑ナラズ、其間貴重ナル費用ヲ浪費シ、或ハ損失スル等ノ恨ミアルガ如シ、右ハ主トシテ財務課ノ力乏シキノ至ス處ナラント察セラル、ガ、市長ハ之ヲ擴張統一スルノ意思ナキヤ。最後ニ各種常設委員等ノ機關アルガ如ク、財務上ノ市政運用ニ關シテモ諮詢機關ヲ設ケ、市政ニ通曉セル議員ヲ網羅シ、衆智ヲ集メテ市政運用ノ妙諦ヲ發揮セントスル意思ナキヤ如何。

伊澤市長 諸君ノ御意見ハ成ルベク之ヲ尊重スル方針ナリ、然レドモ人事關係ニ就テハ答辯ヲ差控ヘタシ、尙職制ヲ改良シテ諮詢機關ヲ設クルノ意思ナキヤトノ質問ナルモ、右ニ就テハ目下考慮シタルコトナシ。

▽職制及行政整理ニ關スル質疑應答 九月二十五日ノ會議ニ於テ、職制及行政整理ニ關シ、左ノ質疑應答アリタリ。

田中康三君 伊澤市長ハ就任當初、強ク正シキ信念ヲ以テ邁進スベシト聲明シタルニ對シ、余ハ衷心敬意ヲ表示シタルモノナリ。然ルニ職制ヲ改正シ、或ハ任免黜陟ノ行ハル、噂事ナルノ時、某々高級吏員ハ、市會ニ權威アル

團體ノ領袖タル議員ノ門ニ出入シ、或ハ榮進ヲ計リ、或ハ地位ノ安固ヲ圖ランガ爲、理事者ニ對スル運動ヲ依頼シツ、アル事實アリ、斯クノ如キハ市政ノ將來ニ一大禍根ヲ貽スモノナルガ故ニ、職制改正及行政整理ニ際シテハ特ニ慎重ナル考慮ヲ拂ハントヲ望ム、理事者ノ所見如何。次ニ改正サレタル新市制ハ市政ノ運用ニ際リテハ、衆智ヲ集メ、議員全員ヲシテ其衝ニ當ラシムルコトヲ根本精神ト爲セルニ拘ラズ、少數者ヲ以テ組織スル參事會ニ對シ、其權限ヲ擴大スベク二十三項ニ亘ル草案ヲ作製セルガ、斯クノ如キハ官僚思想ノ現ハレニシテ民衆政治ニ逆行スルノ謗ヲ免レズ、市長ノ真意果シテ如何。最後ニ既ニ市會ノ議決ヲ經テ目下日比谷公園内千二百坪ノ地ニ建築ノ工ヲ進メントシツ、アル市政調査會館ノ敷地ニ就テハ、果シテ市ガ之ヲ貸付ケタルモノナリヤ、貸付ザルモノナリヤ、若シ貸付タリトセバ建築ヲ許スモノナリヤ、許サザルモノナリヤ、一説ニ依レバ警視廳ハ建築ヲ許可セズト云ヒ、或ハ大藏省ガ容喙シツ、アリト稱セラレ、更ニ又會計検査院ガ、財産管理上建築ノ中止ヲ命ジタリト云フナド、諸説紛々トシテ帝都ノ中央ニ面白カラザル話題ヲ提供シツ、アリ、市長ハ如何ニ之ヲ處理セントスルカ、道途傳フル處ニ據レバ、市政調査會ハ東京市ニ對シ、契約不履行ノ訴訟ヲ提起スル準備中ナリト聞クガ如何。

伊澤市長 市吏員中綱紀ヲ紊ル者アラバ相當ノ處分ヲ爲スベク、人事ニ就テハ特ニ公平ナル態度ヲ以テ臨ム考ナリ。參事會ノ二十三項ニ亘ル權限擴張事項等ハ嘗ツテ聞知セザル所ナリ、唯一言附言セン、參事會ニ市會ノ權限ヲ委任スルト云フコトハ、何等官僚式ニアラズシテ、市會ガ之ヲ委任スレバ、參事會ハ其旨ヲ受ケテ議決スルニ止マルモノナリ、故ニ此際委任事項ヲ増加シタリトテ何等新市制ノ精神ニ悖ルモノニ非ラズト考フ。

山口助役 市政調査會トノ土地貸借契約ノ件ハ、既ニ市會ノ議決ヲ經タルヲ以テ、市トシテハ其約束ヲ履行セザル可ラザルモ、國有財産法施行後、公園以外ノ目的ニ、國有財産ヲ使用スルハ不都合ナリトノ問題起リ、該地所ノ關係未ダ判明セザル爲、警視廳ガ建築ヲ許可セザルモノニシテ、東京市ノ關係ニハアラズ、仍テ市トシテハ内務、大藏兩省ノ之ニ關スル法規上ノ解釋ノ決定ヲ待チ、改メテ市會ニ諮ル考ナリ。

田中君 參事會ノ權限ニ關シテ余ハ市長ト意見ヲ異ニシ、民衆政治ニ逆行スルモノト考フ。尙ホ最近市長室カ助役室カノ入口ニ「ボックス」二箇所ヲ設置シタリ、右ハ陳情團抑制ノ關所ナリト聞クガ、其使用ノ性質如何。

丸山助役 參事會ノ權限ハ新市制ノ上ニ於テハ事實上縮小セラレタルガ、其趣旨ハ勿論尊重セザル可ラズト考フルモノナリ、唯一般市政ノ運用ニ當リ、屢々多數議員諸君ノ集會ヲ煩ハスコトハ、往々困難ナル場合アルヲ想像シ、成ルベク輕便ナル簡捷主義ヲ執ル上ヨリ、如何ナル程度ニ於テ、市會ノ權限ヲ參事會ニ委任スルヲ適當ト爲スヤニ就キ、一應研究中ナルハ事實ナリ、從ツテ未ダ何箇條等ノ草案ハ作製シ居ラズ。又「ボックス」ハ新聞紙上ニハ種々面白キ記事トナリテ現ハレ居レドモ、右ハ單ニ取次ノ機關ニ過ギサルナリ。

▽市政運用並市財政ノ根本方針ニ關スル質疑應答 九月二十五日ノ會議ニ於テ左ノ問答アリタリ。

藤原俊雄君 第一、新市長ハ永ク官海ニ生活セル經驗ヲ有スル所ヨリ、多クノ市民ハ官僚式人物ナルガ如ク思惟シツ、アレドモ、時世ハ今ヤ普選時代ニ入り、「デモクラシー」ノ世トナレリ、市長ハ今後市政ヲ運用スルニ當リ、唯法律ノ權限ヲ實行スルト云フ精神ナリヤ胡座ヲ組ンデ、議員ト懇談セントスル精神ナリヤ。第二、市長ハ就任ノ當初、市政ノ運用ニ當リテハ圓滿平和ノ協調ヲ實現スルヲ以テ理想トスト聲明セラレタルガ、果シテ然ラバ餘程打解ケタル考ヲ以テ、萬事ヲ處理スルノ覺悟ナカルベカラズ、然ルニ最近ノ市會ハ開會スル毎ニ議論盛ニ行ハレ全ク協調ノ實ヲ缺クガ如クニ見受ケラレザルニ非ラズ、市長ハ市會ト如何ニシテ協調ヲ保タントスルカ。

第三、市長ハ就任ノ聲明ニ於テ、東京ハ世界ノ大都市ナリト云ヘリ、然ルニ吾ガ東京市ハ遺憾ナガラ世界ノ大都市ニ比シ、其内容ニ於テ、外觀ニ於テ著シキ遜色アリ、仍テ市長ハ東京市ヲシテ眞ニ世界ノ大都市タラシムベク、輿論ヲ喚起スルニ足ルベキ説明ヲ爲サンコトヲ望ム。第四、市長ハ強ク正シキ信念ヲ以テ市政掌理ノ任ニ膺ルト云ハレタルガ、其正シキコト、ハ何ヲ意味スルモノナリヤ。第五、市長ハ自治體ノ財政ハ正ニ斯クスベキモノナリトノ抱負ヲ有スルナラン、果シテ然ラバ之ヲ市民ノ前ニ獅子吼スルノ必要ナキヤ。

伊澤市長 我國ノ自治體ハ、未ダ充分ニ發達シ居ラズト考フ、然ルニ余ハ幸ヒニ東京市長ノ榮職ニ就任セルヲ以テ東京市ノ自治ノ發達ニ就キ充分努力スル考ナリ。市會ニ對スル圓滿平和ノ意味ハ、充分接觸ノ機會ヲ作り、意思ノ疏通ヲ圖ルノ意ニ外ナラズ、東京市ハ日本ノ都市タルト共ニ又世界ノ大都市タリ、依ツテ名實共ニ相應シキ施設ヲ爲スノ要アルヲ以テ、余ハ市ノ首腦者トシテ充分之ガ實現ニ努力スル所アルベシ。

▽市政方針ニ關スル質疑應答

更ニ十二月八日ノ會議ニ於テ左ノ質疑應答アリタリ。

瀧澤七郎君 市長ハ就任ノ當時、怠ケル者ハ誠リ、勉強スルモノハ面到ヲ見ルト云ハレタリ、言ヤ甚ダ佳シ、然ルニ一ヶ月ヲモ經過セザル中ニ、其聲明ヲ裏切り、ボン／＼首斬リヲ行フガ故ニ、吏員ハ今ヤ其堵ニ安ズル能ハザル状態ニ在リ、本所區長十時尊君ノ如キ、赴任以來謹直ナル勉強家ナリシニ拘ラズ、今回市長ノ爲ニ誠首サレタリ、市長ハ十時區長ニ何ノ缺點アリシト云フヤ、又市長ハ婦人都市研究會ニ出席シテ、鐵筋「コンクリート」ノ小學校ハ贅澤過ギル、木造ニテ充分ナリト語リシト云フガ、市長ハ果シテ斯ル見解ヲ有セラル、ヤ如何、尙ホ市ノ最高幹部タル學務局長ヲ恰モ日傭人夫ヲ遇スルガ如キ態度ニテ誠首シタルハ、殘酷ノ至リニテ、人ヲ遇スルノ途ニアラズト考フ。電車未成線工事ハ公債ノ募集不可能ノ爲廢止スルニアラズヤト聞クガ如何。又自動車ヲ統一ス

ル條件ノ下ニ起債ノ認可ヲ能ナリトノ説ハ事實ナリヤ、事實ナリトセバ統一ノ方策如何。電源調査ノ其後ノ結果如何、新市長ノ財政計畫ノ大方針ヲ承リタシ。最後ニ松本助役ニ塵芥處理場ノ其後ノ經過ヲ伺ヒタシ。

西久保市長 成程余ハ就任當時、吏員ニ對シ、市會ニ對シ、怠慢ニ墮スベカラズ、過誤ニ陥ルコト勿レト言明セリ。然ルニ今回ノ行政整理ニ當リテ、勤勉ナル吏員ヲ誠首シタルハ何事ゾトノ質問ナルガ、余ハ就任後一ヶ月間、市政萬般ノ事務ニ關シ、三助役トモ充分調査研究ヲ重ネタル結果冗費ヲ省キ、事務ノ簡捷ヲ圖ランガ爲、職制ヲ改正シ、局課ノ廢合ヲ行ヒタリ、其結果多數ノ吏員ヲ誠首スルノ止ムナキニ至レリ。誠首サレタルモノ、中ニハ、或ハ勉強家モアリシナラン、或ハ有能者モアリシナラン、然レドモ大局的見地ヨリシテ、多少ノ犠牲ハ蓋シ止ムヲ得ザル所ナリ。次ニ小學校ノ件モ、御質問ノ通り贅澤ナリト斷言セルハ事實ナリ、併シナガラ鐵筋混凝土ハ惡シキガ故ニ、木造ニ改造スルノ要アリトハ言ハズ、唯鐵筋ハ木造ニ比シ優レ居レドモ、之ガ裝ヒヲ華美ナラシムルヲ不可ナリト斷ジタルノミ、余ハ苦シキ市ノ財政上ヨリ、今尙特ニ此感ヲ深ウシツ、アルモノナリ。局長誠首問題、局課長任用問題ハ、地位ノ如何ニ依リ厚薄アルベキニアラズト考フ。最後ニ財政問題ニ就テハ借金モ相當ノ額ニ上リ居リテ、當局モ當惑シツ、アリ、右ハ出來ル丈節約ヲ加ヘ、施行中ノ事業モ、事ノ緩急輕重ニ應ジテ中止スルモノモアルベク、建築ノ如キモ華美ヲ避ケ、堅牢主義ヲ以テ進マントス。

第四拾節 天機奉伺ノ件

▽聖上御不豫ニ付天機奉伺ノ件

聖上陛下御不豫ニ付、十二月一日特ニ市會ヲ開キ、天機奉伺ノ件ヲ上程セリ、先

ヅ議長(入山副議長)ハ、聖上陛下御不例ニ渡ラセラル、趣拜承、洵ニ恐懼ニ堪ヘズ、就テハ天機奉伺ノ爲緊急市會開會方市長ヨリ請求アリ、仍テ本日本會議ヲ開キタル次第ナリト述べ、書記長ヲシテ左記開議請求書ヲ朗讀セシム。

財發第一、四九一號

聖上御不豫ニ付、天機奉伺ノ爲明十二月一日午前十時市會開會相成度候也

大正十五年十一月三十日

東京市長 西久保弘道

東京市會議長 小島七郎殿

劈頭西久保市長ヨリ、畏クモ、天皇陛下御不例ノ趣拜承シ、余ハ客月二十九日取敢ヘズ葉山御用邸ニ伺候ノ上御見舞申上ゲタリ、其後洩レ承ル所ニ據レバ、御惱一進一退ノ御模様ニテ、洵ニ憂慮ニ堪ヘズ、就テハ市會ノ決議ヲ以テ、二百萬市民ノ赤誠ヲ代表シ、重ネテ御見舞申上ゲ、一日モ早ク御平癒アラント祈リ奉ルベク、市會ノ開會ヲ請求シタルナリト述べ。議長(入山副議長)ハ、前例ニ據リ奉伺案文起草委員五名ヲ指名シテ異議ナキヤヲ諮リ、滿場ノ同意ヲ得テ、左記ノ如ク委員ヲ選定シタリ。

長 町康夫 西川嘉門 若林成昭 太田信治郎 倉田金三郎

斯クテ會議ハ一旦休憩シ、委員ハ別席ニ於テ、若林成昭君ヲ委員長ニ推シ、慎重審議ノ末成案ヲ得、再開ノ會議ニ臨ミ、總員起立裡ニ、若林委員長左ノ案文ヲ謹讀、滿場一致之ヲ可決シ、議長ハ市長同道、直チニ天機奉伺ノ手續ヲ執レリ。

天皇陛下御異例ノ趣ヲ拜承シ、臣等恐懼措ク所ヲ知ラス恭シク

天機ヲ奉伺シ謹ンテ御平癒ノ速カナランコトヲ祈リ奉ル 臣等茲ニ東京市會ノ議決ヲ具シ以聞

大正十五年十二月一日

東京市長從四位勳二等 西久保弘道

▽聖上崩御ニ付天機奉伺ノ件 十二月二十五日緊急市會ヲ開ク、劈頭議長(入山副議長)我々市民ガ、先帝陛下ノ御

不例ヲ承リテ以來、日夜赤誠ヲ以テ御平癒アラセラレンコトヲ祈リ奉リタルニ、畏クモ今朝一時二十五分、崩御ノ公報ニ接シ奉レリ、右ニ就キ市長ヨリ開議ノ請求アリシニ依リ、茲ニ緊急市會ヲ開會セル次第ナリト述べ、次デ西久保市長ハ

先帝陛下御惱以來、皇室ニ於カセラレテハ、御手厚キ御看護ヲ盡サセラレ、國民一同又等シク赤誠ヲ以テ御平癒アラント祈願シ奉リタルモ其效ナク、人事ヲ盡シ、神事ヲ盡シテ、遂ニ一大不幸ノ御報道ニ接スルニ至リタルハ、諸君ト共ニ誠ニ痛恨ノ至リニ堪ヘズ。陛下ノ御盛徳ハ、我國民ノ等シク瞻仰シ奉ル所ニシテ、我々東京市民ハ、畏クモ輦轂ノ下ニ在リ、聖恩ニ浴スルコト極メテ厚キガ故ニ、崩御ヲ悼ミ奉ル至情モ亦、一層深ク大ナルモノアリ、就テハ至急諸君ノ御決議ニ依リ、天機ヲ伺ヒ奉リ、二百萬市民哀悼ノ至誠ヲ奉表セントス、何卒慎重御審議アラント望ム。

夫レヨリ日程ニ入り、議長ハ、書記長ヲシテ左記日程ヲ朗讀セシム。

財發第一、五九八號

先帝崩御アラセラレタルニ付、天機奉伺ノ爲本日午前十時緊急市會開議相成度候也

大正年間 第四章 大正十五年 第四拾節 天機奉伺ノ件

大正十五年十二月二十五日

東京市長 西久保弘道

東京市會議長 小島七郎殿

此時小俣政一君ハ、本議事ニ就テハ、起草委員五名ヲ置クコト、シ、其指名ヲ議長ニ一任シ、謹ミテ二百萬市民ノ赤誠ヲ披瀝シ、哀悼ノ誠意ヲ奉表センコトヲ望ム、右謹ンデ動議ヲ提出スト述ブ。議長ハ之ヲ議場ニ諮リ、異議ナク動議成立シ、議長ハ直チニ起草委員ヲ左ノ如ク選定セリ。

橋本直一 高橋義次 村松恒一郎 高橋秀臣 小栗富五郎

斯クテ一旦議事ヲ休憩シ、委員ハ議長室ニ參集シテ、村松恒一郎君ヲ委員長ニ推シ、慎重審議ノ末、成案ヲ得テ會議ノ開再ヲ求メ、村松委員長ハ、左記ノ案文ヲ謹讀セリ。

伏シテ惟レハ

大行天皇允允武

列聖ノ宏謨ヲ紹キ給ヒシヨリ國威日ニ加ハリ民化月ニ洽ク中外齊シク 聖德ヲ景仰ス今ヤ

御登遐ノ公示ニ拜接シ 臣等輦轂ノ下ニ在リ日夜 聖澤ノ渥キニ浴スルモノ驚愕悲痛其ノ極ニ達ス 臣弘道東京市會

ノ決議ヲ具シ市民ノ至誠ヲ代表シテ恭シク哀悼ノ意ヲ

上聞シ奉ル

大正十五年十二月二十五日

東京市長從四位勳二等 西久保弘道

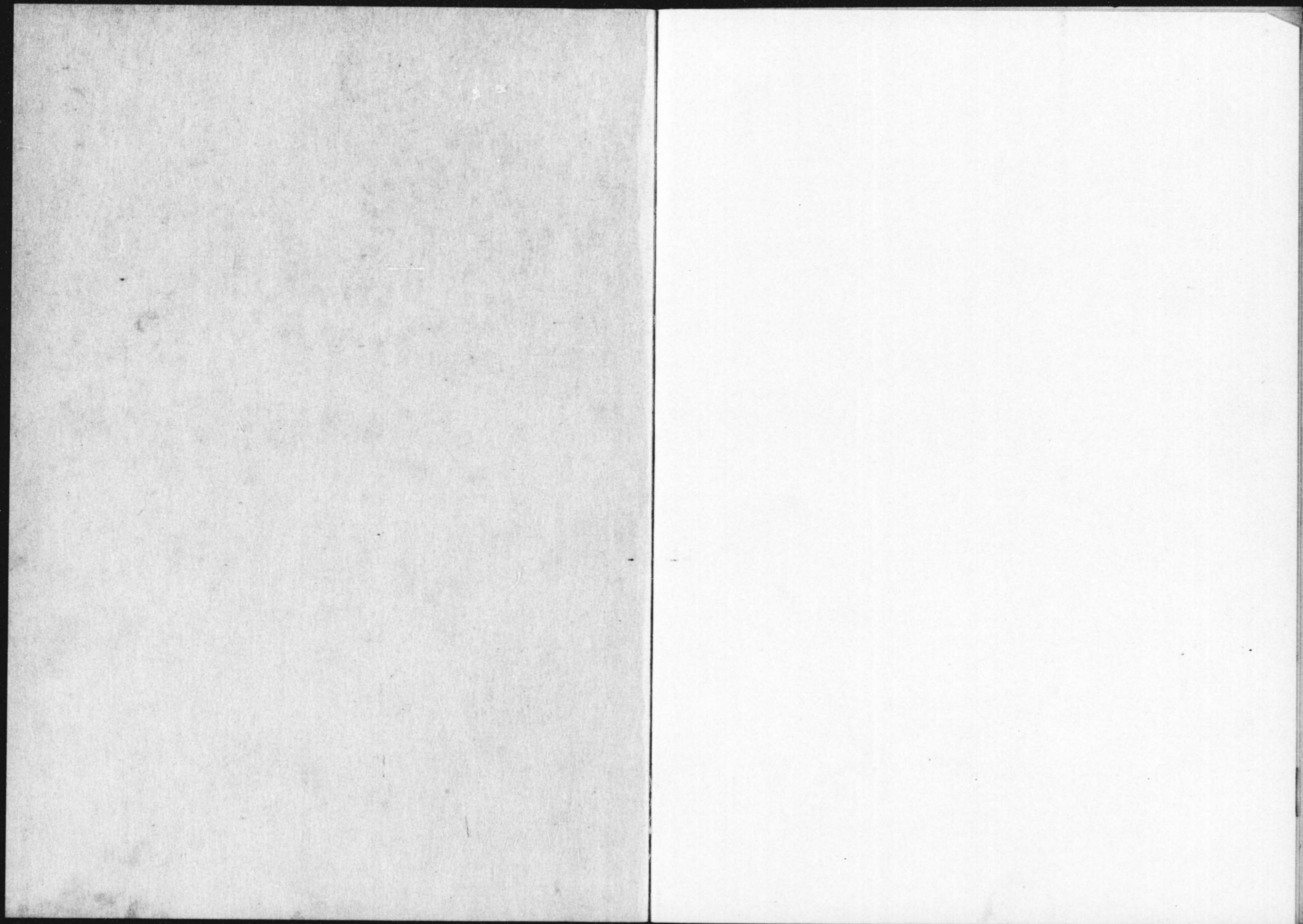
入山副議長ハ委員會ノ報告ニ賛成ノ方ハ敬意ヲ表スル爲起立サレタシト宣シ、總員起立、滿場一致可決サレタリ、茲ニ於テ議長ハ、直チニ市長同道、葉山御殿ニ參向シテ、天機奉伺ノ手續ヲ執ルベシト告ゲ散會セリ。

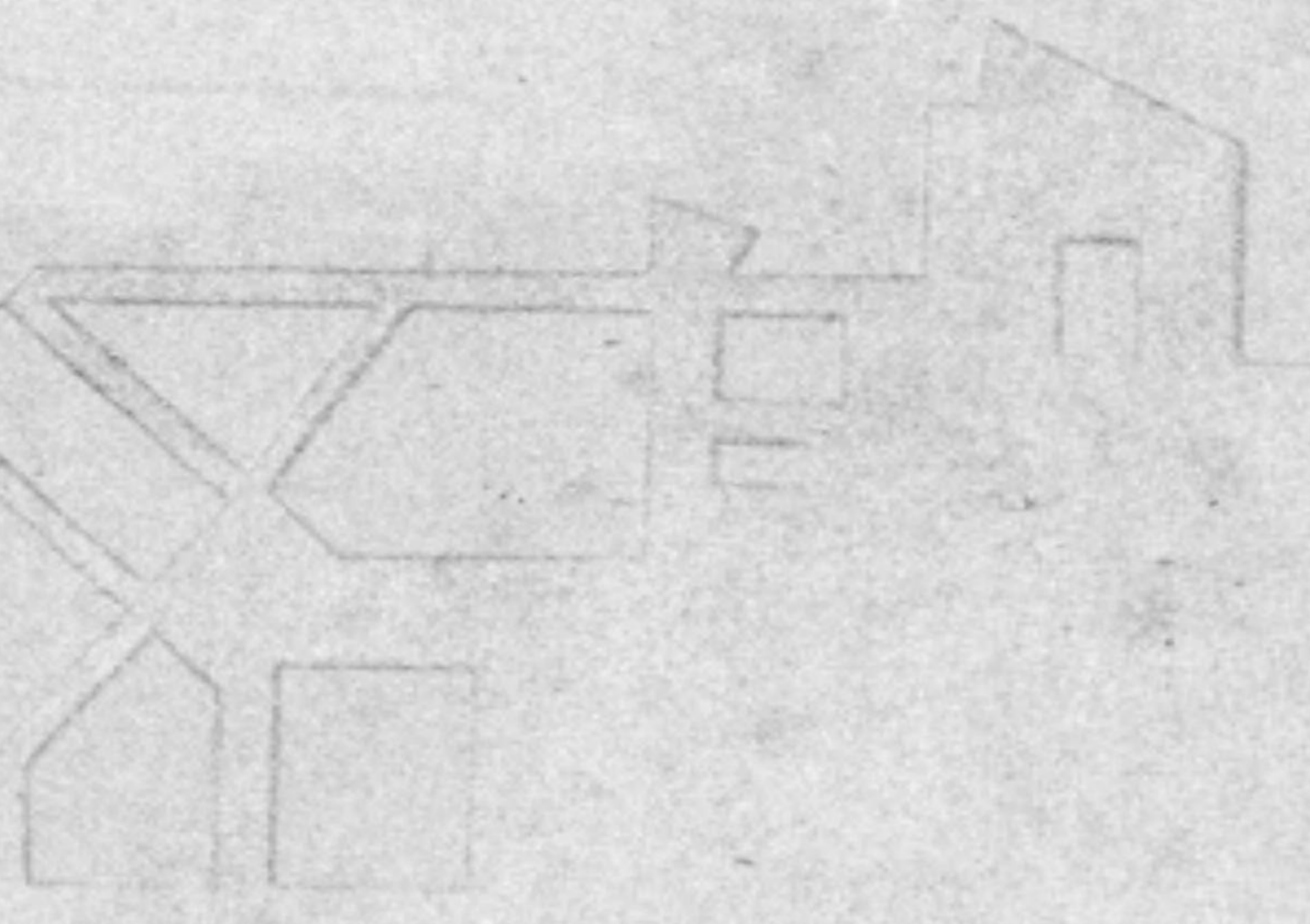
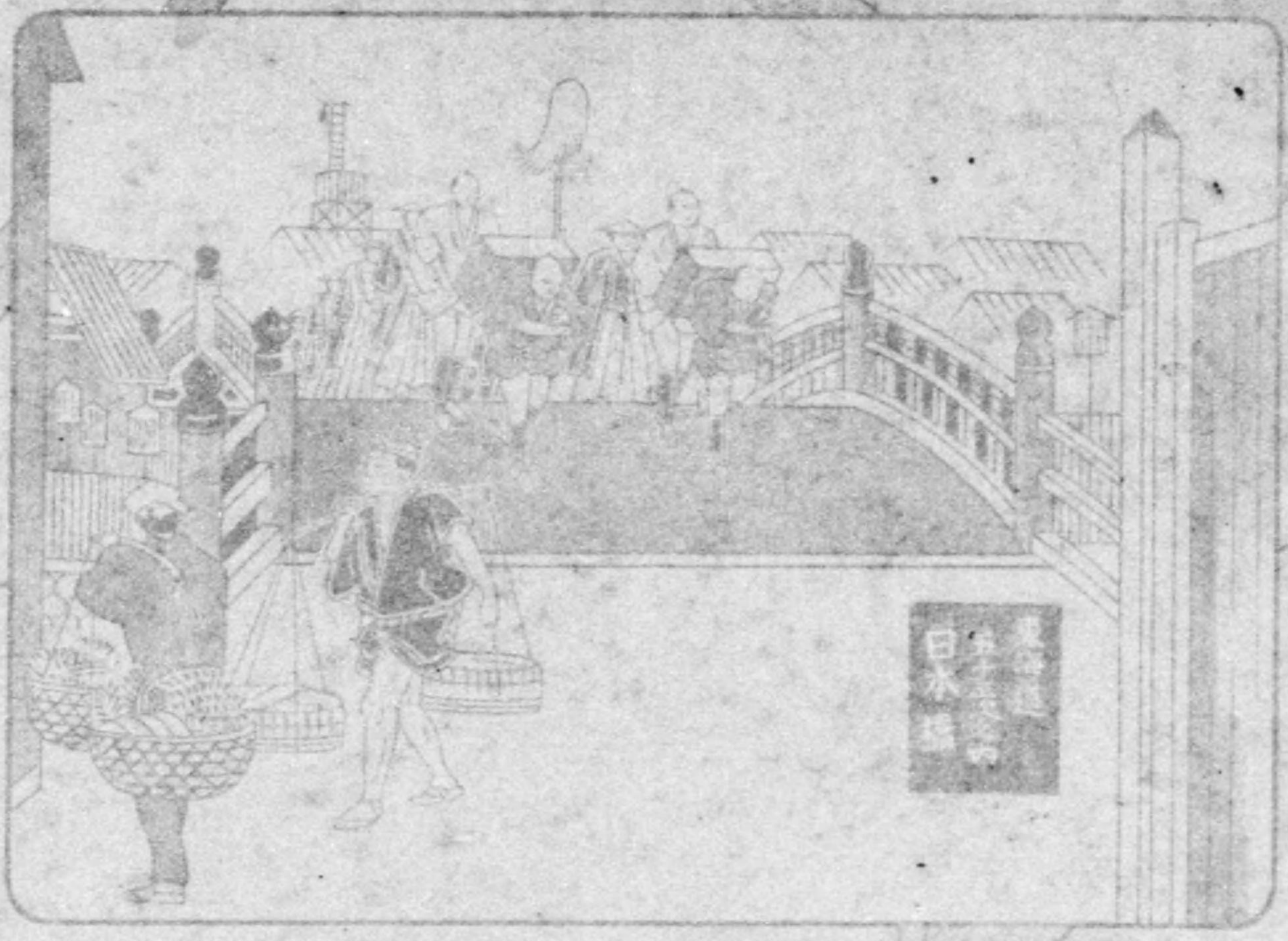
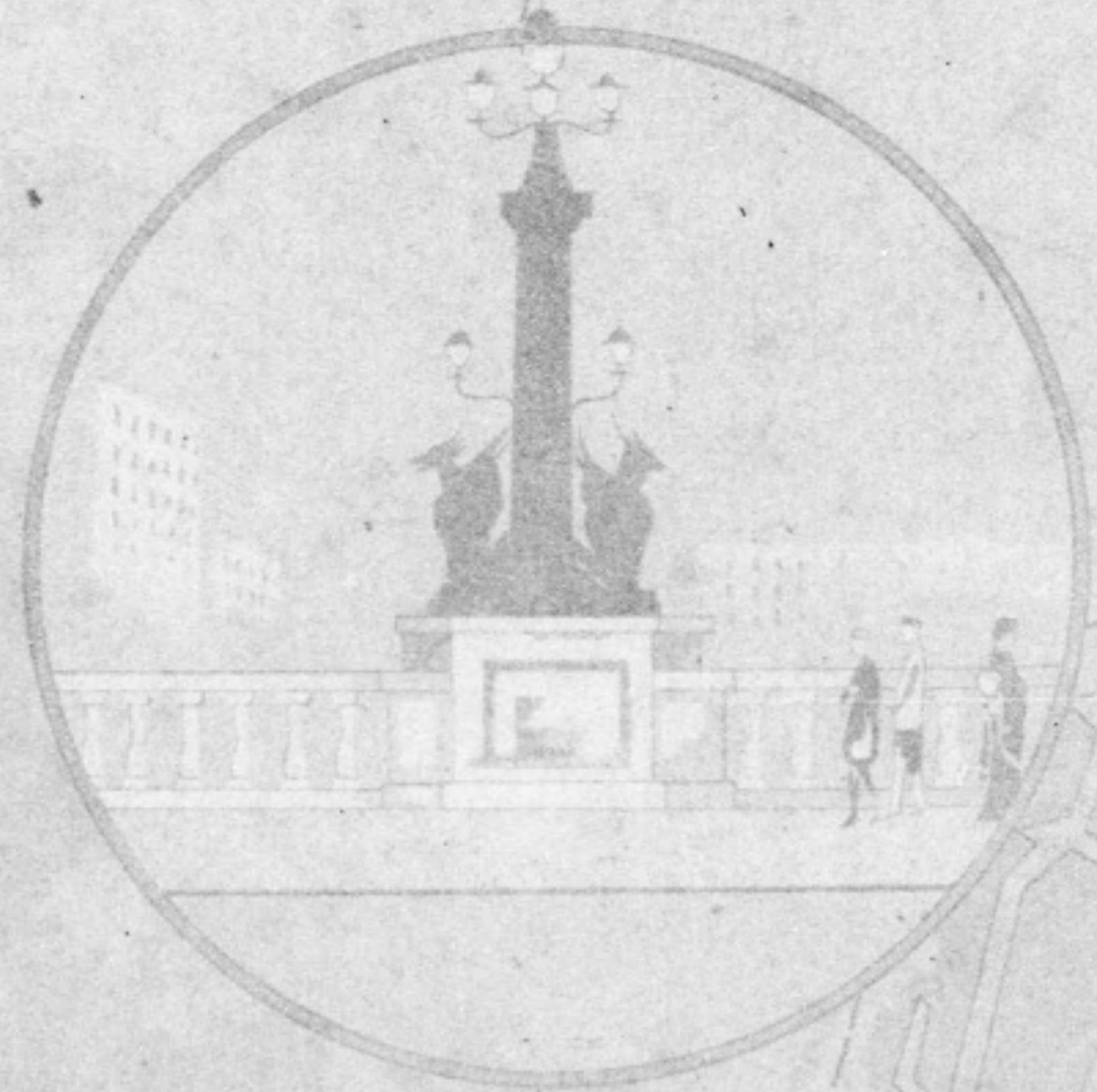
第四拾壹節 市會議員總改選

市會議員總選舉ハ六月四日(二級)同六日(一級)ノ二日間ニ行ハレ、六月十九日ノ會議ニ於テ、左ノ如ク當選シタル旨報告アリタリ。

級別	選出區名	當選者氏名	級別	選出區名	當選者氏名	級別	選出區名	當選者氏名
二級	麴町區	茂木久平	二級	麴町區	別役増吉	二級	神田區	中川重政
同	神田區	高橋秀臣	同	神田區	中村舜二	同	日本橋區	今津源右衛門
同	日本橋區	小幡敏男	同	日本橋區	伊東美代松	同	日本橋區	秋庭伊兵衛
同	京橋區	吉井濱治郎	同	京橋區	坪野房治	同	京橋區	小森七兵衛
同	芝區	大神田軍治	同	芝區	森原嘉逸	同	芝區	高橋義次
同	芝區	藤原久人	同	麻布區	田中康三	同	麻布區	八太茂
同	赤坂區	天野富太郎	同	赤坂區	入山祐治郎	同	四谷區	本田義成
同	四谷區	瀨川光行	同	牛込區	立川太郎	同	牛込區	小島七郎
同	牛込區	溝口信	同	小石川區	西川嘉門	同	小石川區	松永東
同	小石川區	森脇源三郎	同	本郷區	戸倉嘉市	同	本郷區	高崎高次郎
同	本郷區	小原要三郎	同	下谷區	金子東一	同	下谷區	大野敬吉
同	下谷區	小瀧辰雄	同	淺草區	島多郎	同	淺草區	加藤辰之
同	淺草區	伊藤仁太郎	同	淺草區	平林發司	同	本所區	瀧澤七郎
同	本所區	小俣政一	同	本所區	深山彦平	同	本所區	古島宮次郎
同	深川區	小坂久馬吉	同	深川區	原伊三郎	同	深川區	古島宮次郎
同	深川區	大橋誠一	同	池田區	伊三郎	同	神田區	細谷鎌太郎
同	神田區	笠原文太郎	同	神田區	池田清秋	同	神田區	西村吉兵衛
同	神田區		同	神田區	福田又一	同	神田區	

大正年間 第四章 大正十五年 第四拾壹節 市會議員總改選 第四拾貳節 市會議員變動





日本橋
本町
本町
本町

